人格主義の思潮（一）

人格の價値（上）

阿部次郎氏講演

東北大教授文學士阿部次郎氏は今回滿鐵の招聘に依り來鮮三月二十九日より四日間同社龍山社友會に於て『人格主義の思潮』と題する講演を試みたる處聽衆に向ひたるが同氏講演速記の一部を玆に揭ぐべし

『人格主義の思潮』と云ふこと是れに關する色々の人の說を述べ、人格主義の歷史を說くかの如くにも聞こゆるが、私は此處では歷史に就て話すのではなく自分が一人の人格主義の信奉者として、自分の考へて居る人格主義の主張を出來るだけ徹底的に申上げて見度い。（中略）人格の高さを其の人の『正しさ』に依つて測ると云ふことは尤ものことであるが、人が正しく行爲する爲めには何れだけの條件を充たさなければならないであらうか、他人を正しく判斷する爲には單に其の人の行爲が正しいか正しくないかを考へるだけではいけない。其行爲の中にある心持に對して少くとも三つの點から觀察しなければならない一つは其人の人格若くは其行爲の根底になる心持が豐富であるか、貧弱であるかの點である。次の眼の著け所は其人の行爲及び心持に何れだけの力が備はつて居るかと云ふ點であるし、もう一つは其人の心持の中心點が何處にあるか如何なる點に纒まつて居るかと云ふ點である。さうして此の三つを一綴めにして玆に即自善と云ふ名前を附けることが出來る。即自善とは夫自身に於て善なること、と云ふ意味である。さうして單に正しいか正しくないかと云ふ一點から考へる考へ方、即ち道德的正と即自善との關係如何と云ふ一般的問題に引直すことが出來ると思ふ。即自善と云ふ觀念は美學の方面に於ては缺ぐべからざるものであつて、藝術と云ふものは一體に即自善の立場から人間の生活を見て居るものであると云ふことが出來る。即自善の方面から人世を見ることが出來る樣になると、所謂暗黑面の中にも種々の色合を見ることが出來る樣になる。若し此の方面が判らなければ他人に對して正しい態度を取ることが出來ない。だから吾々が正しくあらうとする場合には藝術的の修養が必要である。此の方面に對して眼が開けて來ると世の中が餘程違つて來る。前よりもつと複雜になり、苦しみも多いが望みも多くなり色々な人と自分との間に和さ親しみが出來るのである。玆で一寸吾々が、昔から聞いて來た言葉で、而も隨分不思議な云ひ方をするものだと思はれる言葉に對して、或る解釋をする手掛かりを得るのである。一つは『惡に強い者は善にも強い』と云ふ諺、もう一つは親鸞聖人の『善人なほ往生すべし況んや惡人をや』と云ふのである。親鸞聖人のはかなり激しい言葉である。が其の文句の少し後に說明が附いて居て『自力作善の人は偏に他力を賴む心缺けたる間彌陀の本願に非ず』云々とある。是と對照して見ると、自力作善に依る功德を積んで淨土に往かうとする人は親鸞聖人の立場から云へば一番大切なものが缺けて居る、偏に他力を賴む心が缺けて居るので聖人の立場から遠慮なく云つて貰つたならば偏へに他力を賴む心のあるのが本當の善人であつて、自力作善の人は本當の善人ではないことになるのであらう、併し世間では他力を賴む心がなくても行爲が正しければ善人だと云ふ、夫れで聖人も其言葉を其儘持つて來て、所謂善人すら往生する、所謂惡人が往生するのは當然だと云つたのであらう。此の場合の惡人と云ふのは自分の到らないことを自覺し、偏に他力を賴む心を持つ者のことである。又惡に強い者は善にも強いと云ふのは、其人の行爲は現在は間違つた方向に向つて居る。が兎に角其人格の中には向いた方角に向つて眞直に突き進んで行くと云ふ力がある。だから若し其の突き進んで行く方向を換へたならば正しい方向に其の力が働くと云ふのであらう。吾々は矢張り人間の價値と云ふものは單に常識的の意味に於ける正しいか正しくないかだけに依つては定まらない一つの場合として是れを考へることが出來る。斯く考へると人格の價値に對する我々の考へ方は一度非常に擴がつて復た一つに括られた樣になつて來る其の括り目は親鸞聖人の立場に從へば偏に他力を賴む心である。が、是れに就てはカントがかなり眈かりした哲學的の解釋を施して居る。先驗的當爲と云ふのが夫である。翻譯から來た妙な言葉であるが、近頃日本の學者は一致して使つて居る。吾々の經驗的經驗に先だつてある。

懸賞川柳

美人　劍花坊選

○美くしいのは親切に扱かはれ　北滿洲チャハル　納豆蘭

○美人薄命にして二度の妻　京城黃金町　矢文坊

○嫁探し二度目に來れば人の妻　鎭南浦　宇之坊

○あの女だなアと片思ひ　慶北安東　合衆子

○敵國の美人藥科を困らせる　江景本町　サバル

○障子から片目出してる美くしさ　平壤　土右衞門

○田吾作に嫁せずと村の小町云ひ

評　作者に申す、土左エ門の號は朝鮮川柳の開拓者に正木土左門氏あり土右衞門と號せられたし

○湯歸りを美くしして見て申込み　平北龍巖浦　梁水生

○里などは樽はぬこいふ美くしさ　平壤　風來坊

○何人の男斷にころげこみ　黃海沙里院　伏虎庵

妻となりて

布施生譯（六十五）

侯爵がこうしてゐる時分雅子は夫の姉の大友未亡人と例の紛擾で小さい胸を波立たせてゐた。雅子は未亡人を客間に振棄て、自分の部屋に飛込むと暫時は緊く兩手を胸の上で組合はせ呼吸さへせずに立つてゐたが何となく心淋しい思ひに涙ぐまれた。こんな事から自分と九郎との一伍一什を笑ひ話にして夫に傳へる機會が無くなつて仕舞ふのではあるまいか、思へば九郎と自分との惡因緣は何處まで附いて廻るのであらう、九郎さんも餘りと云へば見下げ果てた、こんな事を總々夫の姉に手紙で知らせてやるなんて、いくら私を困らせる爲とは云へ餘り男らしくも無い、それは兎に角夫に對してはごう云ふやうにしたものだらう、愚圖々々して姉の口から夫の耳に話されると飛んだ誤解の種になる恐れがある。こんな思ひに疲れてゐる處へ老執事が明け放しの部屋の前を通り懸つた、『旦那樣はお遲いのね』と訴へると執事は奧樣おむつかりと看てとつたのか小兒を宥めるやうな調子で『いゝえ奧樣昨晩もお歸宅は今頃でございました、もう直お歸宅でございましやう』と答へながら畏まつてゐた。雅子は吻と溜息をついたが執事を看返ると何だか氣の毒になつて、『一寸御苦勞ですが道やを呼んで頂戴』と吩咐た。間もなく小腰を屈めながら這入つてきた道やに、『お姉樣がお出でだから下のお客間を綺麗にしておあげ申すのですよ』と吩咐ると、『畏まりました』と道やは素直に返事をしたがしかし心の中では別の事を言つてゐた、道やは實の處大友未亡人を好いてゐなかつた、好いて居なくても仕方が無い、道やは早速階下へ降りて吩咐られた通り部屋をしつらへに懸つたが其間雅子は自分の部屋に閉ぢ籠りながらそわ〳〵と落ち付かなかつた、『いつそすつかりお話しておけばよかつたのに手紙丈では駄目だつた、あの手紙はお手許に屆かなかつたに相違ない、何故素直に私の口から打明けて置かなかつたらう』と考への緒口は重苦しかつたが口切をすますとあとはずつと苦勞が脫けた、『いゝわ、旦那樣は善い方だもの、私を信じて下さるのだもの、初めあの方の處へ參りましやうと申上げた時は實を言へばある方の事なんか何とも思つて居ないのだつたア今になつて見るとほんとに思つて居るところやや無い、ほんとに〳〵お懐しいのだもの』そう考へるうちに思ひ餘つてつい獨り語に、『ほんとうにお懐しいんだわ』と口へ出してまで繰返した、其途端部屋の外で案內を請ふ聲に雅子は沈思の糸を斷切られて急いで戶をあけて見ると老執事が蒼白になつてぎごまぎしながら立つて居た、雅子は咄嗟に何か有つたなと感付いて『まあ、どうかしましたか』と尋ねると老執事は縺れた舌を必死に働かせて『旦那樣が、旦那樣が』と繰返した『炭坑から電話が參りましたのでございます、何だか變事があつたらしいのでございまして、はい、旦那樣は擔架でお歸り遊ばすそうでございます、どうぞ奧樣、お氣をお確にお持ち下さいませ、何も大した事では無からうと考へますで』雅子の顏色を窺ひながら執事は自分も泣いてゐた、雅子は手で顏を蔽ひながら身動きもせず立つてゐたが忽ち手を離すと頸然と反身になつて『こんな事ではいけないわもつと剛毅しなくては』言ふうちに氣が引緊つたのであらう、騷いだ樣子もなく老執事を背後に隨へながら二階を降りた、そして臆せず玄關に立つて擔架に橫たはりながら歸つてくると云ふ夫を待受けた。

京城日報

京城太平通二丁目 發行所 合資會社京城日報社 電話番號 長六千九番 二 振替京城三〇〇番

發行兼編輯人 奧田山藏　印刷人 小川三之介

新人の鍛鍊

●新人の鍛鍊とは何ぞや　新人と鍛鍊
社會奉仕と精神 … 桑木博士
民衆運動の訓練 … 板倉卓造
新人の行く道 … 內ケ崎作三郎
英人の規律的訓練 … 大田
余の家族休日利用法
職工五百名の解雇
死を覺悟した三度
自殺を企てた時
年齡に從ふ鍛錬順序
靜座と病弱
忿怒と身體
鐵石炭の世界的運動
爲替の大變動
茂木と安部の提携
選擧は人物本位か政黨本位か
株式暴落と財界の前途
今日金融逼迫の原因
財界批判 東拓の前途

自動車運轉手養成
甲種 乙種
東京芝浦自動車講習會

太陽
春季增大號 四月號 定價壹圓
●哲學と社會問題 … 桑木博士
●最低賃銀を論ず … 北澤新次郎
●獨逸の現狀と其の將來 … 宇都宮
●民衆運動の批判 … 今井博士
●海面埋築制限論 … 杉浦
●經濟と天文學 … 小城博士
古典主義と民衆文藝 … 太田善男
朝鮮人同化觀念の變遷 … 高橋博士
大學改造意見 … 神戶博士
最近美術界の印象 … 川路柳虹
最近同盟罷業の橫斷面 … 美濃部元
日支關係論 … 市村博士

特別附錄
齋藤先生 … 島崎藤村
兵營時代 … 岡田三郎
ルウベン伯父 セルマ・ラゲルレフ … 菊池寬譯
疑惑 … 南部修太郎
愛しぬ惱み … 堀江京子

▼經濟上に於ける原內閣の功罪 … 堀江法學博士
▼勞働組合を法人とするは不可 … 松波法學博士
▼電車と東京市民 … 內田魯庵
▼生活の改善と經濟上の社會政策 … 渡邊法學博士
▼物價調節に就て … 上山滿之進
▼總選擧大勢觀 … 小路仲 永田秀次郎
▼解散と總選擧（政界春秋） … 無名氏
▼議會解散と總選擧 … 尾崎行雄
▼第四十二議會と政治の前途 … 植原悅二郎
▼衆議院の解散 … 美濃部博士

東京 博文館

三越の裁縫練習生募集
今般左の通り募集致ます。希望の方は履歷書携帶午前中に至急當店庶務部まで來店ありたし委細面談（電話にての申込みは御斷り）
一、京城市內在住の年齡十四歲以上の女子（尋常小學校卒業者）若干名
右採用の上は教師の許に修習せしむ
一、京城市內在住の裁縫に經驗ある女子　若干名
右は試驗の上採用し採用者は其技能に應じ給料を與ふ
京城 三越吳服店

株主は必ず是丈は心得置かれよ
株式投資者の活顧問
大高評第三版出づ 直にハガキで申込め
今や株式界は近く一大恐慌を來さん泡沫會社續出す
株式投資熱望 發行所 東京 廣友社

最新刊
まるくす全集 … 山本資人
工場委員制度 … 板橋卓一
自由への道 … ラッセル
社會改造原理 … ラッセル
クロポトキン獄中記 … 遠藤無水
民族性の研究 … 納武津
新文化の道 … 野村隈畔
無敵の米國 … 原田祭
外から觀よ內から觀よ … 長島隆二
最新旋盤使用法 … 中村惠亮
京城本町一丁目 大阪屋號

日本自動車學校 東京蒲田驛前

新時代 四月號 愈々出來
當面の政治問題 議會解散を中心とせる本日政局の徹底的批判
議會解散の眞實相 … 植原悅二郎
急激の革新か秩序的進步か … 松田源治
黨略本位の解散 … 濱口雄幸
矛盾に滿てる原內閣 … 古島一雄
國民の利害を無視せる解散 … 某貴院議員
妥協調案不成立の經緯 … 小野
物價問題と增稅問題 … 田中善立
病膏盲に入れる議會 … 桂
議會と民衆の距離 … 一周
解散と政黨の將來 … 安部
解散の止むを得ざりし理由 … 小山
解散は一大冒險 … 恒川
原內閣に對して 田川大吉郎 政爭の巷より … 政界記者
當面の思想問題 何處に國民思想の中心點は向ひつゝあるか
民衆運動の批判 … 大島正德
思想動搖の歸着點 … 紀平正美
思想の體驗を缺ぐ … 原田實
國民思想の動搖觀 … 西宮藤朝
壇上の人々と最近の思潮
講堂の信仰と思想
宗教の改造と神の觀念（研究） … 帆足理一郎
米國に於ける選擧實情
海外の風波
嘉納治五郎論
俳人諸氏に與ふる書 … 荻原井泉水
三月文壇の評 … 平林初之輔
平安朝樂の使命 … 田邊尚雄
平凡非凡 … 加藤武雄
トルストイ … 片上伸
適齡前 … 宮地嘉六
東京 新時代社發行

株式會社 正隆銀行
新株明日メ切
詳細は本月一日、五日廣告

特許 朝日式下向ランプ
火災を起す心配は更になく安全なり
各縣郡農會の御推賞
發賣元 名古屋市 淺野商店

京城代理 日報部

對浦鹽政府商議 武装解除顛末
豫てより兵力の集團を策す 我軍斯る行動を忠告す

陸軍省發表＝四月二日浦鹽派遣軍參謀高柳少將は在浦鹽自治會臨時政府に赴きメンチコフに會見し三月卅一日發表帝國政府の聲明及び自治會に對する軍の要求事項を通告し之れに關する交渉開始を要求し應諾を得たれ越えて三日午前十一時高柳少將露國側チエツク中將と此の間に交渉を行ひ要求事項中第一乃至第三を兩國折衝の末露國側は此等三件を總括的に承認せり次で四日午後二時交渉再會高柳少將以下前日の如く露國側は新にクーベルマンを委員とし第四項より商議を開始し同項を左の通り修正したる上主義に於て全部我要望を容れ五日兩國委員の間に決議文の交換を爲す可きを約したり

（第四項）何者の企圖たるとに論無く苟くも臨時政府の領土内に於て日本軍に危害を加へ若くは滿鮮の平和を害する一切の行動を除去する事

之れより先浦鹽革命軍は頻りに兵力の集結を策し所在軍隊の毀動絶えざりしかば四月三日日本軍司令官は革命軍司令官に對し斯の如きは動もすれば意圖外の事端を惹起するの虞れあるを以て猥に軍隊を行動せしむる事を愼まれ度き旨忠告し革命軍司令官は快く之を承諾したり然るに四日午後十時十五分浦鹽停車場附近の我兵站司令部の歩哨及び將校巡察が突然露兵の射撃を受けたるを動機として革命軍は我隊に對し攻撃を開始せり浦鹽附近我守備隊は露軍の態度と戰鬪の状況に依り考察し彼等の行動を以て相當計畫ある敵對行爲と判定し夜中守備區域内露軍の武装團隊に著手す茲に於て軍司令官は一般の情勢を觀察して秩序維持の必要上露軍全部に對し武装解除の斷行を決意するの已む無きに至れるなり

附記 其後在浦鹽革命軍の殆ど全部の武装解除を終り日本軍司令官は宣言を發し秩序維持に關し露國當局と商議中なる事既報の如し其詳細並にニコライエフスク、ハバロフスク方面の状況に關しては未だ公報無し（東京特電）

日過軍衝突詳報
警戒兵隊長官舍急襲を受く 自動車運轉手即死

陸軍省發表＝四月三日浦鹽臨時政府に對する交渉は四日圓滿解決を告げたり此夜各隊は過日來の露軍の行動に對し稍緊張し居たる際戒を警ふするに至れり然るに過激派軍は同夜十時卅分突然第一兵站司令部の歩哨に對し十數發の射撃を行ひしかば中隊長は之が中止方を交渉せしも應ぜず却て益其兵力を増加するより我亦已むを得ず之と應戰するに至れり又市中に於ては我巡邏偵察兵等狙撃せられ、若多く自動車運轉手一名即死し一名重傷を受けたり次いでアドミラスカヤ等の官衙及び自動車庫の警戒兵並に浦鹽憲兵分隊長官舍は露軍の急襲を受け衛戍司令部附近通行中の巡察兵は突然兵火を蒙り續いて五日午前二時に至るや第一兵站司令部は腹背より敵の計畫的攻撃を受くるに至れり茲に於て我軍は自衛上已む無く應戰し全部の武装を解除するに決せり（東京特電）

二市兩軍衝突、高壓的武装解除
我軍死傷百餘名を出す

五日浦鹽露軍の武装解除と同時にニコリスク露軍に對しても武装解除を要求せるも應ぜず却て反抗的態度に出でしより兩軍の衝突となり我軍死傷百餘名ありしも敵に多大の損害を與へ高壓的武装解除を行ひたり（浦鹽電報）

不逞鮮人策源地殲滅
過激派の隻影を認めず 我軍の治下にあるを熱望

四日午後十一時半頃露兵が不意に我兵を襲撃し盛んに狙撃したるを以て露國和平の爲め隱忍し居たる我軍も堪忍袋の緒を斷ち決然立ちて之に應じ五日未明迄に在浦鹽革命軍全部の武装を解除し一切の軍衙其他要所を占領したる上武器を全部押收し兵員其他を捕虜としたれ又五日午後二時より歩兵四百山砲二門を我小蒸汽一艘に分乘せしめロスキー島攻撃に向はしめ同島守備の露兵を悉く降伏せしめたり又之と同時に憲兵隊は軍の援助を得て午前四時より新韓村の露軍を降伏せしめ不逞鮮人を搜索して二十九名を捕へたるが中に首魁あり是が爲め不逞鮮人の策源地は全く殲滅せられたり又捕虜中にも多數の鮮人あり憲兵は尚續き搜索中なるが鮮人學校は兵燹に罹り市中は各戸戸を鎖し業を休めるも平穩なり今や浦鹽及び新韓村一帶の地には赤布を纏へる過激派の隻影さへ認めず露人中産階級以上の者は我軍の治下にあるを熱望しつゝあり新韓村には憲兵駐屯所新設さるべし（浦鹽電報）

南部烏蘇里隊勇奮
敵死傷多大＝藤岡中尉微傷を負ふ

浦鹽派遣軍司令部と浦鹽革命軍との談判不調の結果我南部烏蘇里派遣隊に於てもスラヴヤンカ、ノウエフスコエ、バラバシ守備隊は五日午前六時より革命軍と戰鬪を開始し之を降伏せしめ悉く武装を解除なさしめたり敵の死傷尠からず我軍は歩兵中尉藤岡彦衛氏微傷を負へるのみ同中尉は咸興歩兵第七十四聯隊第十二中隊より出征せるものなり（スラヴヤンカ電報）

壯烈なる戰死を遂ぐ
覓中尉の奮鬪

ラズドリノウエ守備隊は五日午前三時過ぎ過激派軍が對敵行爲を敢りたる爲め決然是を攻擊し優勢なる敵の主力と交戰したるも奮戰力鬪五時間の後露軍に約百五十の損害を與へ中隊正面に於て俘虜八百名を得たるが此の戰鬪に於て覓中尉は小隊を指揮し最左翼にありて敵約四百機關銃二の包圍を受け常に先頭にあつて部下を指揮し奮戰以て中隊の任務を全了せしめたるも中尉は午前七時二十分壯烈なる戰死を遂げたり其他損害前記の如し（軍司令部發電）

占領建物返還
六日の浦鹽は平穩

哈爾賓來電＝日本軍は四日夜浦鹽停車場及び公共建物を占領し日本國旗を掲揚し日露兩軍間には五日朝迄戰鬪繼續されたりと六日の浦鹽は總て平穩なり尙日本軍は占領せる建物を返還し國旗を撤去せり本件は固と誤解より出たる者の如し日本軍は露人が日本の哨兵を攻擊せるを以て之に報復せるものなりと稱し居れり（上海電報）

陸戰隊上陸準備

浦鹽の騒擾に關し其筋に達せる情報に據れば日本軍司令官より浦鹽臨時政府に提示せる要求條件に對し既に承諾の旨返答ありたるも尙萬一を慮り浦鹽碇泊の帝國軍艦肥前は既に何時にても必要に應じ陸戰隊上陸の準備整ひ居れりと（東京特電）

佛軍三地占領

巴里來電＝佛軍は六日フランクフルト、漢堡、ダムルスタツト三地を占領せり（巴里電報）

スパルタカス團數百を斃す
獨政府軍進擊

獨逸政府軍司令官は政府軍は全戰線に亘り進擊しスパルタカス團數百を斃せる旨公表せり（ロッテルダム電報）

フユーメ獨立發表か

ダヌンチオ氏はフユーメ獨立宣言の布告を近く發す可き旨聲言せり（紐育電報）

愛蘭官廳襲擊さる

三日夜愛蘭に於て多數の政府官廳警察署は襲擊されたり尚稅務署收稅局全部燒き打され恩給局愛蘭銀行支店火災を蒙り電信電話切斷されたり（倫敦電報）

丁抹內閣辭職命令
總同盟罷業中止

丁抹王はキーへ內閣の辭職を命じ新選擧法に依りて總選擧を行ふ事を命じたり尙總同盟罷業は中止せられたり（コペンハーゲン電報）

下院議員日本訪問
布哇比律賓支那視察

米國下院議員及び其の家族一行約百名は五月七日汽船ウントヴアノン號にて布哇、比律賓、日本及び支那訪問の途に上るべし右に就き某下院議員は述べて曰く此旅行は目下懸案中の重要立法問題、日本支那移民問題、比律賓獨立及び布哇を一州となすの件等に就き實地調査を必要とする爲めなりと（華盛頓電報）

波蘭軍歸還

在西伯利波蘭軍將校百九十名、兵卒七百七十名、婦人及子供三百十名は今回波蘭に歸還す可く八、九、十日の三回に大連着直ちに露國義勇艦隊汽船ヤロスラブ號に搭乘十三日大連發歸還の途に就く筈なるが右は露國軍隊に從軍せる者と瑞甸軍に從軍して居たる者なり（大連特電）

李王職官制改正
八日官報にて公布

八日官報にて左の通り公布さる

皇室令第三號、李王職官制中左の通り改正す

第五條中十七人を十五人に、三人を二人に改む

第六條中十人を六人に、李太王を王世子に改む

第七條中五人を四人に改む

第八條中五人を三人に改む

第十五條王世子には事務官、侍典醫各一人屬及び典醫補を公族には事務官各一人及び屬を分屬せしむ

附則 本令は公布の日より之を施行す

▲宮內省令第三號を以て明治四十三年宮內省令第十六號中李王職の元四十九人を四十三人に李王職典醫補の元五人を四人に改め公布の日より之を施行す（東京特電）

新文學博士
候補者十名

來る十三日最後の文學博士會開會新文學博士の推薦を爲す筈なるが左記十氏は最も有力なる候補者なりと（東京特電）

德富猪一郎▲金子馬治▲小牧昌業▲小柳司氣太▲上田庸一▲大槻仁太郎▲大町桂月▲野口米次郎▲笹川臨風▲西村天囚

松平部長急行

浦鹽方面の形勢突如重大となれる結果歸朝中の松平政務部長は急遽歸任の必要生じ八日東京驛發浦鹽に急行せり（東京特電）

增田銀行支拂停止と休業

大阪增田ビルブローカー銀行は七日午後より支拂停止を發表したるが八日より臨時休業を爲すべしと（大阪電報）

增田銀行破綻 後場中止
善後策協議中

株式界に廣く手を延ばせる增田ビルブローカー銀行の破綻に依り東京株式綿絲明米の大暴落となり東京株式取引所は七日後場より立會ひ中止となり八九兩日も休止大阪株式取引所も其餘波を受け八日立會ひを休止す尙大阪銀行家十餘名は七日朝よりホテルに會合し財界動搖に對する善後策を引續き協議中（大阪特電）

總督動靜
鎭海より馬山へ

齋藤總督一行は六日午前十一時

鮮銀異動評（下）

鮮銀の東京大連兩支店長は從來滿地及び滿洲の副總支配人であつたが今度の改制で副總はなくなり專任支店長に變つた即ち權限も事務も減つた形である▲然し東京の支店は本店が移すなどと云ふ意見も一部にある位で出張所が非常に擴大したらしく本店總務部長と共に鮮銀の花形だらう▲大連より東京に轉じた阿部秀太郎君は手腕家である、その大學時代や朝鮮の度支部に任官した頃は振はなかつたさうだが鮮銀に入つて殊に近年メキ\/頭角を現はした▲君の友人の某官吏は阿部も晩成の男かなと評して居る、まだ四十そこ\/で晩成と評さる、年で無ければ前途は大にある▲吉川總務部長に比し頭腦と實務は多少劣るかも知れぬが人物は大きく人ざわりがよい花やかな銀行家である▲君の居る所必ず銀行の交際費增加し本店の經理に物議を起さすと云ふが花唱柳明の方も中々盛んらしい、文藝も上手殊に文學の趣味もある、人に親切と云ふ美德もある▲奉天より大連支店長に榮轉した小西春雄君は早大出身で同行私學派の頭目、人物も大きく鮮銀内の學閥論も隨分高いから近く私學出を盛めてゐるやうだ▲大出身銀行計である▲同行では無論有數の人だが東京支店長としては君より阿部君の方が適材だらうと評してゐる者もある▲外國部長になつたのは一見振はぬやうだがこれから大いに活動をする同部の頭目としては骨も折れるであらう▲一寸氣の毒なのは島雄忠務課長の用度課長任だらう然し君は現役出身でない以上止むを得まい尤も用度課長としては無類の適任と云はれてゐる▲本店司事より平壤支店長に榮轉した大原鹿夫君は堤調査部長と同樣勝田主計氏の總裁時代官吏より入つた人、昨年歐米を巡遊して來た新智識である▲その他は大抵順當な轉任らしい、唯釜山支店長より人事部勤務となつた久我轉職君は可なりの事情があるらしいと云ふ人もある（一記者）

馬山着

鎭海要港部司令官の出迎へを受け市中其他巡視の後要港部司令官々舍に入り同夜一泊八日午前九時馬山に向ふ（鎭海特電）

齋藤總督は八日午前九時卅分馬山着府廳に至り主なる內鮮官民を引見し意見を聽き府內巡視後要港を視察し午後一時自動車にて晉州に向ひたるが歡迎盛んなりき（馬山特電）

物價頭打
株米安先驅

最近數日に亘る株式の大崩落は增田ビルブローカーの破綻因を爲し一般の警戒より來れるものなし如く增田整理問題の落着と共に相當の引返しあるべきが株式の暴落は地方筋の大打擊となり手持米の賣り出し頻々たる爲米界の不勢を誘致し更に生絲綿絲の暴落となれるが財界小恐慌は株式に米穀に商品に出盛熟々として銀行の金融警戒と共に各方面共不況來を餘儀なからしむるものの如く株式米穀の暴落を先驅とし諸物價は頭打なりと見るを得べきかと

財界恐慌來

諸株暴落東拓三十圓鐘紡二十圓其他全部五圓乃至二十圓方慘落後場の立會は停止となる鮮銀株子落百四十八圓殖産銀行九十圓商銀百四十圓東拓五十九圓尙ほ米米綿絲綿糸皆暴落し恐慌來の狀を呈し前途警戒の要あらんと（七日夜京城鮮銀入電）

京城金融近況

三月末京城組合銀行の預金貸出狀況を聞くに預金總額七千三百五十九萬四千餘圓貸付總額九千八百五十九萬四千餘圓なり之を二月十五日現在に比較するに預金額に於て二千九百二十四萬圓貸出額に於て二千六百四十五萬圓の減少なるが預金貸出の內譯左の如し

預金	
定期預金	一八、六七八、〇〇〇
當座預金	一五、九三〇、〇〇〇
特別當座	七、五八三、〇〇〇
諸預金	三一、三九七、〇〇〇
貸出	
貸付金	三八、〇九六、〇〇〇
當座貸越	八、八五〇、〇〇〇
割引手形	四九、八九四、〇〇〇
荷爲替	一、七五三、〇〇〇

京電增電計畫

京城電氣會社は豫て需要の增加に備へん爲め發電裝置の一大擴張を計畫中なりしが時恰も戰亂の影響を受け外國に對する機械の注文全く不可能なりしも此程漸く一部緩和せられたるを以て愈々初志決行に確定し過般米國に三千五百キロワツト發電機一臺並に其他の附屬機械をも注文せりと云ふ同機械は本年末到着の豫定なれば着後直ちに据付に着手せば明年より運轉することゝなるべし

產鐵測量進捗

朝鮮產業鐵道會社にては慶北金泉安東間の豫定線敷設測量の爲め三月二十五日技術員三名工夫五名を派遣したるが更に第二班の技術員及び工夫數名は八日京城を出發すべく第三班は四月中旬頃豫定にて逐々實測を進め居れりと

期米底拔

八日仁川期米は四十四圓三十五錢と五十丁安に寄附き四十五錢の高値に始まり四十三圓四十四錢と前場を終りたるが之が原因は株式安を移せる大阪安報に硬派の投げ出せるに在るも戻し過ぎ人氣旺盛の折柄戻りは南浴すべければ大なる反撥は期待し難く今一段の安値を見るに非ずやと云ふものあり

仁取增配要望
形勢變化如何

仁川取引所の當期成績は豫想の如く手數料收入及び金利收入合計約九十萬圓に達し總越未收入金全部の償却を假りに行ふとしても貸付金拂込資本金五十萬圓に對し十四割の純益あり然も三十萬圓を償却するものの如きにつき純益の計上は拂込資本金に對し二十餘割となるべし然るに配當は年五割の提案をなすものの如きにつき最近京仁を中心とする大株主間に增配要望の聲起り若來る十八日の總會に

五割の提案あらば修正を行なはんとの說高く

相當波瀾を免れ難き形勢にある如し增配要望の理由は最低配當を七割たらしめんとするにあり然もその配當金は僅々十八萬圓に過ぎずコハ收益の狀態未收入の償却積立等より見て何等不自然の配當にあらず寧ろ內地取引所の利益配分方針より見れば極めて過少の率たり斯くして財界が金融逼迫に困じつゝある人氣の幾分を緩和し得べしと云ふにあり總督府が不法の利益處分を行ふ事に對し干渉を加ふるは可なるも增徵前しても相當以上の償却並に積立を行ひ過少の配當をなすに對して尚ほ監督權の行使をなすものとも思はれず要するに理事者の努力を缺ぎ居るに非ずやと云ふにあり目先形勢の變化如何により注目すべき問題を惹起し來るやも計られず

京畿麥作狀況

京畿道管內麥作狀況を聞くに本年は殊の外降雪多く嚴寒時の保溫適切なりしため總じて成育良好なるを得株の張り方莖の延び等前年に比し申分なく此の分にて推し進まば豐作疑ひなかるべしと

貸出制限要望
公設質屋に對する

公設質屋設置に對し京城質業者の陳情書を提出せることは既報の如し尙ほ京城質業者の質業調査を府に要望せる結果府に於ても質業者に誠意ある點は之を認め不日質地調査をなすべしとのことなるが一口貸出金額五圓以下制限要望に對する府の態度は依然强硬なり

部隊長著期

新設歩兵第七十五六兩聯隊長を始め龍山騎砲工部隊長は各個に著任すべく補せられる部隊長は九日名古屋出原田騎兵聯隊長赴任に決定牧、木村兩步兵聯隊長小室砲兵聯隊長本多工兵大隊長亦十二三日頃相前後して來任すべきが他の部員は一同揃つて二十日來城すべしと

明川炭田採掘
麻生氏の經營

京城實業家麻生音波氏は數日前咸興秋山五郎氏の所有に係る咸北明川郡阿間面を中心とせる一大炭田を二十五萬圓にて買收したるが炭質筑豐一等炭に近き價値を有し頗る有望なるにつき麻生氏は目下泗浦港より四里の間に二十五ポンドの輕便鐵道を敷設し露頭掘りを進むると共に諸種の準備をなしつゝあるが多分六月頃より出炭を見之れを浦鹽北鮮並に裏日本方面に供給するに至るべく炭層は四尺乃至十二尺にして一月一萬噸內外を採掘の豫定なりと

學校組合豫算

京城府學校組合豫算に關する委員會は七日終了せるを以て九日午後三時より府學校組合會議室にて組合本會議を開催し九年度豫算を決定すべし

公設市場賣上高

三月中京城府公設市場賣上げ高は六萬二千五百二十八圓にして其の內生魚五千六百餘圓、漬物、味噌、醬油二千餘圓食料雜貨一千六百餘圓野菜類九千五百圓穀類二萬九千餘圓鳥獸肉五千四百餘圓にして一日平均賣上高二千餘圓なり

十九師團檢閱期

羅南第十九師團特命檢閱期は五月下旬より六月下旬に至る約一ケ月なりと

土地信託進捗

資本金三百萬圓の朝鮮土地信託株式會社は現朝鮮土地經營株式會社を百萬圓にて買收し發起人も同社重役により設立計畫中なるが五月初旬三千株を公募すべしと

京南土地許可

京南土地株式會社設立許可の件は神田長平外卅六名より出願中の所三月卅一日附にて許可あり右は本店を天安に支店を東京に置き資本金一千萬圓を以て水利灌漑並に開墾干拓事業、土地賣買及び經營、委託に依る土地經營及び管理、倉庫業其の他之に附帶する事業を營まんとするものにして尙此の他に朝鮮京南鐵道株式會社と提攜して沿線市街地の經營をも爲さんとするものなり

麻生鑛業成立

計畫中なりし資本金三百萬圓（全額拂込み）の麻生鑛業株式會社は五月二十日登記を了したるが右は麻生音波氏の經營に係る事業を承繼せしものにて株式引受者の氏名は左の如し

社長麻生音波、副社長麻生昇、專務取締役筑田和平、常務取締役後藤恭雄、取締役齋藤久太郎、佐藤法潤、荻野芳蔵、今西榮二、岡島英次郎、園田工學博士野呂景義、和田役工學博士久米民之助、同菅原通敬

總監邸晩餐會

水野總監は七日夜大和町官邸に於て有賀榮家ジョイナー氏一行を招待晩餐會を催したり

憲兵隊長會議

朝鮮憲兵隊長會議は五月上旬憲兵隊司令部内に開催すべしと

庶務課長會議

官立病院庶務課長會議は八日より三日間赤池警務局長統裁の下に總督府第二會議室に於て每日午前九時より午後三時迄開催の筈なるが第一日は局長訓示、注意事項、第二日は事務打合せ、第三日は病院見學を以て閉會の豫定にして出席者は下部衛生課長外二十名なり

杉山總長東上

杉山關東廳事務總長は總選擧立候補の爲め郷里福岡縣に向け七日夜大連發朝鮮經由東上せり（大連特電）

松平子送別會

東拓職制變更により近く出張赴任すべき松平直平子、吉田英三郎氏、關屋忠正氏、二宮德氏の爲に十一日午後六時半より京城府官民聯合の送別會を朝鮮ホテルに開催する由

▲申込期日は十日午後四時限り會費八圓當日持參の事▲申込所は京城府廳庶務係電話構內一二二番八番時間後は六六六番

諺文新聞計畫

咸興に於て朝鮮諺文新聞發行の計畫あり近く實現すべしと

○兒島司令官出張期 兒島憲兵司令官は三浦副官並に下士三名を隨へ國境巡視の爲め來る十二日出發會寧、慶源、茂山方面を巡視し五月一日歸城の豫定なりと

於て負擔する事とし修業年限は四箇年生徒數は四百名を收容する計畫なり

○勞働夜學校開設 維民會にては勞働夜學の開設を一目的として經營しつゝある勞働夜學校は開設に付き準備中の所四十餘名の勞働者が熱心なる希望と全く整ひたるを以て四月五日より開學したるが課目は修身、算術、國語、朝鮮語等にして每夜三時間教授なりと

人事消息

▲露國カンベリー軍團長ハマロフ將一行は七日朝北方より來朝朝鮮經由日本に向ふ（奉天特電）

▲滿洲金州普通學堂支那人教師十名五月三日頃來城の筈

▲矢野久三郎氏（總督府營林廠長）事務打合の爲七日夜入城旅館に投宿數日間滯在の筈

▲後藤靜香氏（修養會幹事長）七日午前十時南大門發列車にて平壤に向ひ同夜滿鐵社友會に於て講演十日朝滿洲へ向ふ筈

▲税田谷五郎氏（關稅課技師）中四日神戶歸着直に東上數日中に歸任の筈

▲林繁蔵氏（關稅課長）東上中の處八日朝歸任

▲大內前代議士 七日午後安東より內地へ向け通過

▲松本步兵大佐 七日午後七時廿分發列車にて內地へ向け出發

▲鄭成來氏（翰林院士）七日午後東京より歸城

▲小泉前代議士 同上

▲セイジヨイナー氏一行 七日午後十一時發列車にて奉天へ

▲奧田猪熊少將（龍山旅團長）釜山に出張中の處七日夜歸任

▲山田弘倫博士（軍々醫部長）出張中の處家族同伴七日夜歸任

▲松下正昭氏（大阪每日新聞京城支局員）六日來城天眞樓に滯在中

▲宮崎信路氏（第二十師團司令部付步兵少佐）徵兵檢査視察の爲め南鮮地方に出張中の處七日夜歸任

▲狹間川常務氏 元京城憲兵隊長職後鄉里三重縣津市に於て靜養中なりしが病を得去る四日逝去したと

▲湯淺關東廳警務課長 一箇月の豫定にて東京及び神奈川縣地方に出張を命ぜられ七日杉山總長と同伴出發（大連特電）

重要畧報 欄外にあり

寸塵

何うやら歐米方面のイザコザが收まりかけたかと思ふと今度は日本の方にお鉢が廻つて來た▲西伯利の日本軍は過激派と戰はざるべからざる事となつて細々犧牲を出す▲相手が相手だから力が入るまいが實際厲々しいものだ▲支那も山東問題を引つ張る丈け引つ張るらしい▲新總理が狂言をやり相だ▲何うしても濟むまい▲濟まぬと云へば野心のあつた人々は中々不快に思つて居る▲梁士詒一派が頻りに復活せんことを希望して居るのは底もあり此邊で濟ますまい

ルール秩序回復協議
食糧缺乏と形勢險惡

ルール地方に於ける秩序回復に關する協議會は今尚政府と勞働者との間に行はれつゝあり但し食糧の缺乏は形勢を寧ろ險惡ならしめ掠奪劇及び赤兵は各地に横行し工業都市は救助を要するに至れり而して今や社會黨さへ軍隊を動かすに賛成なるも政府は未だ軍隊を用ひずして秩序回復の目的を達せんとしつゝあり（伯林電報）

伯林靜穩と供給普通

伯林は全然に靜穩にして各般の供給は平常の如く行はれつゝあり（伯林電報）

居留民は安全ならん

日過兩軍の衝突事件に就き敦賀に於ける某消息通の語る所に依れば浦鹽敦賀間は電信不通に就き詳細は知り難きも六日陸軍省發表の如くハバロフスク及びニコリスクに於ける戰鬪は萬止むを得ざるに出でたるもの、如く浦鹽に於ける形勢は同地には我軍隊相當駐屯し居れば差したることは無かるべく萬一大市街戰勃發したりとするも居留民の生命等には別條無き樣方法を講じ居れる筈なれば此の點に危險の存するが如きことは無からんと信ず但し料理店其の他の店舗は休業し一般は尚萬一を慮り不安を感じ居るならんと（敦賀電報）

東支鐵救濟方法

葉恭綽氏より政府に向け露國に支拂ふ可き賠償金にて東支鐵道を救濟する件は露國問題解決後行ふを可とす米國代表も之に贊成なり而して協約國が東支鐵道回收に抗議せば一時の方法として露國統一後露支兩國にて別に方法を講ず可しと回答せよと打電し來れり（北京電報）

山東衆議に問はん

北京政府は王占元氏等に宛山東問題に就き日本の通牒を返附せば國際聯盟を通過せざりし際窮地に陷るべきを以て衆議に問ふに決せりと返電せり（北京電報）

福州事件新交渉

福州事件の交渉に關し北京政府は日本外務省より更に新なる交渉電報を得たりと但し其内容は未だ發表せられず（北京電報）

吳光新軍叛亂

河南省信陽州（京漢線の一驛）に在る吳光新氏の軍隊は四日叛亂し死傷者多數なりと（北京特電）

朝鮮を去るに臨みて（下）
此經靑浦

江湖の論客口を開けば即ち我が鮮統治の寬柔を説き或は却て威壓を非難せんとす、而も是れ各其の時代の必要に順應して當局の苦心を諒せざるなり、蓋し、政治の本領は文治に在り、仁慈に在り、温情に在るも、時に臨機の必要として武斷に依り威力に依るは古今東西其揆を一にせざる莫し、一世統監伊藤公の諄々として至仁の皇謨を宣揚し、日韓一家の必要を懇說したるは其聲尚ほ耳朶に在り、二世統監曾禰子爵は斯民を寧宕に救濟するは一に產業の振興に在りとし、韓皇陛下の親耕の範を垂れしめたりき、三世統監寺內伯は變徙の鎭撫、併合斷行の必要より止むなく威服の政策を取りしも、裏面に於ては誠心鮮人を愛護せしなり、長谷川總督も表面武斷の觀ありしと雖も、彼の騷擾に際しては最も寬宏の對策を取り其本旨の威壓に非ざるを證明したりき、現齋藤總督は一視同仁の聖詔を體し、內鮮人相互の差別撤廢を實行し、以て親善融和の實を擧げしめんとす、是れ固より併合大詔の精神に準規するも之を中外の狀勢に察して最も賢明の施措なりと言はざるべからず、吾人は齋藤總督の高邁温雅なる天品と水野總監の卓拔なる識見技能に信頼し克く其治績を奏すべきを疑はず、然り歷代當局の誠意は終始一貫替はるものなく國家萬般の施設に渉りて業に既に其功果の光彩顯赫たるを見る即ち半島財政の收支は曾て八百萬圓に過ぎざりし者今や一億萬以上に及び、鐵道の延長一千五百哩に達せり、北漢港灣道路橋梁潮溉より學校病院監獄等に至る迄施設の完備せるこ共に產業勃興し經濟充實し四民鼓腹し歡樂する者豈刻下の現狀に非ずや、之を十餘年前に於ける社稷荒敗民生凍餒の慘狀に比せば誠に天淵霄壤の差にして誰か隔世の感なからんや、若し此の顯著なる境遇時代の變化を解せず、其の殊生的幸福に向つて感謝の道を知らざるが如きは全く人の良心靈智を缺如せりと謂はんのみ、否又當に此等感謝の情誼を識らざるのみならず、漫然獨立を唱道し或は附和雷同して自ら刑罰に觸るるが如きは吾人其何の故たるを解するに苦しまざるを得ず、彼等は何の必要に依り此の蕞爾たる小邦土の獨立に眷戀し、東亞の一大强國として宇內に雄飛するを願はざるか、坤輿幾多の小弱國が戰時にも平時にも、列强の間に重視せられず、其權利を伸張し、國威を保持し能はざるは瞭然目睹の事實に非ずや、且つ又國家の獨立は一兵卒なく一軍艦なく實力なき空言の能く成し得べきに非ざるは、識者を待ちて後始めて知らざるなり、現代の世界は最早バベルの高塔を築きて以て天國に至らんとせる大古の創世と相距るや甚だ遠し、卿等の獨立萬歲を唱ふは恰も玩具の飛行機を放揚し玩具の軍艦を進水して快哉を叫ぶと異なる者なし、予は今朝鮮を去るに臨み衷心新附同胞の反省を促し新政の仁風惠露に浴して倶に共に平和幸福の新生涯に入らんことを願はざるを得ず、否又實に徐々奮勵努力して以て物質的、精神的に其品性を向上し其境遇を改善して完全なる帝國臣民たるに至らんここを勸說せんとす、惟ふに卿等の將來は希望に充ち進步に滿ち幸福に充ち洋々春海の如き者あり、吾人の卿等に囑望し祈禱する處只夫れ此の如きのみ、復何をか言はん、予は今將に離鮮するに當り茲に謹みて在鮮中賜りたる新舊同胞の厚誼を感謝し併せて其悠久なる健康幸福を懇禱して休まざるなり、噫矣。

民力涵養宣傳

內務省は民力涵養宣傳の爲め高本日南外二三氏を全國各地に派遣することに決定したり（東京電報）

飛行術練習生留學

六日の閣議にて飛行術研究の爲め海軍部より練習生四名を比律賓に留學せしむべく決定せり（北京電報）

海員代表候補

海員代表選定協議會は六日遞相官邸に開會山脇松尾兩候補擁立を爭ひしが野田遞相の斡旋にて妥協を締ひせる爲め遂に妥協成立し結局東洋汽船社長岡崎健氏を第一候補に推すに決せるが第二第三候補は更に協議の上決定すべしと（東京電報）

政友公認候補

政友會公認候補者は六日更に八名の發表あり之にて累計百九名となれり（東京電報）

露大使退去か

露國大使クルペンスキー氏は平素蒐集したる美術品を携へ近日日本を去るべしと（東京電報）

交代派遣兵着

光州自團大雨交代派遣兵百五十名は七日午後五時到着せるが光州官民並に赤十字支部より菓子酒を送り歡待せり（光州特電）

北鮮事情紹介

北鮮の一般狀態が內地には勿論どうかすると南鮮地方の在住者にも了解せられて居らぬ爲め北鮮の開拓に投資する者が少きを遺憾こし羅南の某々有志等は北鮮事情紹介團を組織して京阪地方及び東京方面を中心に各實業家を訪問しやうこいふ計畫を樹て、居るが説明委員として各都より二名乃至三名を選び約三十名の團員を以て山林係鑛山係水產係植物係交通係石炭係農業係等を定め巨細の調査報告を分擔せしめ結局事業と企業家と資本家との連絡を結び付けやうと云ふ目的であるが贊成希望者多いので實現するらしい（羅南）

財界閑話

市中の金は餘程つまつたやうだ、有力者の丸持で新會社の株でも見向きもしてくれぬ——銀行にもつて行つても見向きもして呉れぬ——をベラ棒に多く背負ひ込み青息吐息の者もある▲然もそれらの連中は手持の鮮銀や殖銀の新株拂込みを眼前に控へヤアごうしたらんかは遲い▲新會社の濫設も這回の恐慌的株式崩落こ人氣の減切りを惡化こ前記の如き有力者連の四みこにより目先もう多くあるまい▲金がつまつたこ云つても日本銀行の兌換券は十二億圓、朝鮮銀行のは一億五千萬圓も出てゐて二月頃こ大差がない▲乃ち通貨に增減はないけれど銀行にも個人にも手許に金が少くなつたこれはつまり信用の收縮少し醜く云へば破綻のためである▲株や米や諸商品の不勢も來るのは必ず來る、唯その時期は下半だらう——こは何人も云つて見たが案外早く來たので實際面喰つたものが多い▲京城の株屋の二流所には大株東株一千□揚を言信し定期や現株に思惑をやつてゐた連中が二三ある▲それが今度の大暴落で消くなつただけですます幾年かの間に溜た小金を煙にし尙足が出るらしい▲小株市場の開場も目前に控へ閉店者を出しはせぬかと案じてゐる銀行家もゐた▲此頃株式を公募した內地人側の某々三四の會社は贊成株の拂ひ込みが一向なく、加之發起人の拂ひ込みも成るべく御遠慮遊ばすらしいので會社の成立は到底六ケしいこか云ふ事である▲會社そのものが必ずしも惡くなからう、然し時節が惡いのだこ觀める外はあるまい

京日案內

金融月賦貸付　金融ノ方ニ爾業信用貸金御相談ニ應ズ　月收其他の方へ秘密信用貸出　京城本町三ノ四六　大和屋貸店

貸倉庫　木造高建壹棟約三十坪　京城府靑葉町馬車道附け　京城古市町　熊野商會

醫院讓度　朝鮮慶南有望ノ地今般都合ニ依リ至急讓リ度シ　京城日報內　深堀

古本高價買入　▲御報早速參上▲電話八六五番　本町二ノ三七　文光堂本店　本町二ノ五九　文光堂支店

讓店　但雑貨及履物　御希望者は場所姓名住所　櫻井町目坂きの本人來談あれ

土地家屋賣却　永樂町壹丁目五八番　家付き貸金町參丁目　拾六坪武甲家付…

讓り店　印刷機械其他一切…　櫻町二丁目…

藥店讓　當主成功ノ後急讓　照會ハ京城日報社內　深堀　早勝

古本高價買入　是非御試賣ヲ乞フ　御報早刻參上　電話三一九五　本町二丁目　群書堂書店

福田屋質店　今般都合により左記の處に移轉從前の通營業仕候間何卒御引立の程願上候　京城旭町一丁目九番地　福田屋　竹島寅次郎　電話一〇二三番

看護婦募集　見習看護婦　月手當十五圓以上三十圓迄　希望者履歴書携帶至急來談　京城明治町二　久枝肛門病院

謝　國中の處昨日歸院從前の通り診療に從事致し候　龍山漢江通十三（郵便局筋向）　上野齒科醫院

電話が變りました　取次電話一四五九番に　京城櫻井町二ノ二〇番地　產婆（遠山改メ）山口ミチヨ

ほねつぎ　うちみくじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場

日賦貸金　武利・信用・直ちに融通致シマス　京城並木町三拾九番地　醬油店ヨリ東へ六軒　田島

電話讓物あり　南山町三女學校前　電話一八七六番　吾翎

外交集金人募集　希望者履歴書携帶午前中本人來談　保證人二名ヲ要ス　南山町三ノ一九　京城殖産會

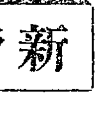
社員採用　外務▲御婦人も歡迎▼　大和町一丁目六番ノ四　日本徵兵保險會社

電話賣物あり　八五五番　京城本町二ノ五六　吉田

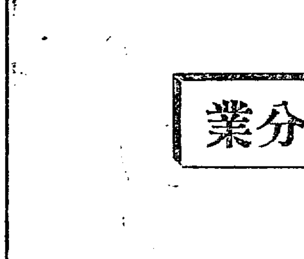
當亭園內の梅櫻桃は笑ひ初め蓮翹はもう眼も覺むるばかり松愈々綠にして花愈々紅です御家族方の遊樂も團體の運動會も共に設備が出來て居ます
御辨當其他御便に御用に應じます
料理店　甘泉亭　獎忠壇傍　京城東四軒町　電話一九八六

當る九日晝より
特別大寫眞封切
米國パテー會社大傑作
最終篇 運命の指環 最終四卷
長々續々せし問題の『ダイヤ』果して何人の物ぞ呼鳴恐ろべき殺人光線の偉力……最後の勝利の榮冠何人の頭上に輝く
本年三月新規大撮影當館封切
珍聞奇談 柳生旅日記 全八卷
出た！！出た！！日活自慢の大舊劇
日本一の大劍士柳生十兵衛が僞氣狂ひの東海道中漫遊旅日記は松之助柳生に扮し大活躍
御注意　一舊劇大雄編に付運命の指環映寫時間左の通り　晝午後一時より　夜七時より映寫仕候
▲毎日晝夜開館
京城本町壹丁目　高松直營　喜樂館　電話五九七番

內科　小兒科　入院隨意　每日五名受限
京城府黃金町一丁目　電話二四番
化濟病院
醫學博士　古城憲治
醫學學士　打田義芳
施療す


種卵　各種最新輸入　うづら　藥鷄　器具　一切
病氣詳細は營業案內にあり
農商務省西ヶ原農事試驗場御用
東京市牛込區早稻田鶴巻町　早稻田飼禽場

アラ不思議
ごんなに年をとつても是れでみたら直ぐかくしてゐる人の年や生月日を知るのは何かわかる思ふ人で大阪市の京都に東京大阪の仕事へ行販賣共東京西川區…
專賣特許委託販賣新案品並權利賣買
三豊商會

風引には
大學病院 携帶方劑


中村　販賣元　樂天堂製藥會社　各地藥店の特約店に販賣す

新シキ試ミ商工分業

倫敦オーガストドミユル商會特約品
英國製春洋服地特價提供

紺黑セルツメエリ上下	表地一着分	金二十一圓ヨリ各種
同上セビロ三ツ揃	同	金四十二圓ヨリ各種
縞メルトンセビロ三ツ揃	同	金三十六圓ヨリ各種
霜降セルセビロ三ツ揃	同	金二十四圓ヨリ各種
レインコート	同	金二十二圓ヨリ各種

右四月八日ヨリ一週間限店頭陳列特價賣出シ仕リ候

京城　丁子屋

尙地方注文ノ御方ハ年齡及御希望御豫算額御申越次第早速代金引替小包便ニテ發送仕候

新龍山三角地西へ入る
龍山齒科醫院
東京齒科醫學士　廣瀨文質

パナマ帽子　原料付屬品
觀世捉　合名會社　江指商店　大阪高麗橋東詰　電話東五〇〇…

トリスウヰスキー
生活改造の特質を明かにすべく　トリスの上に先づ貴下の手を置かしめよ　トリスの飲用は貴下の貴重なる時間を妨げず　貴下の貴重なる頭腦を損はず　貴下の貴重なる能率を削がず　然も立ろに貴下の快味を滿たす

代理店　祭原商店　大阪市東區安土町四丁目

家庭欄

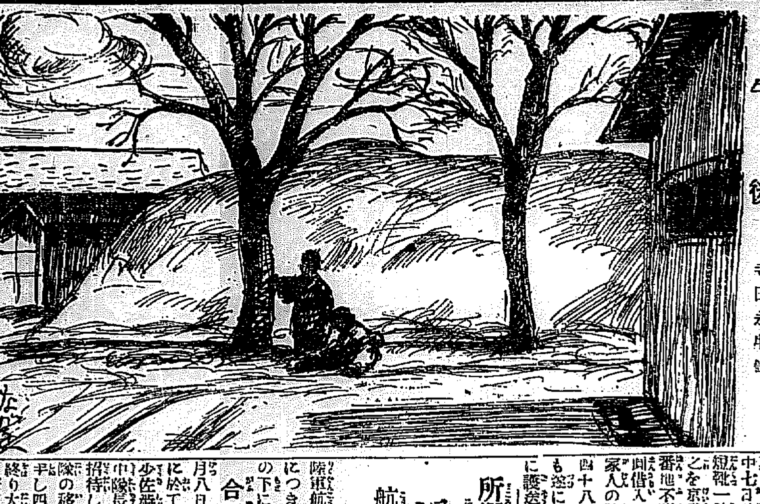
結婚に對する母親の希望 【四】

三角錫子女史談

そこで結婚といふ事に就きましてはよく〳〵慎重に考慮しなければならないといふ事は申す迄もありませんけれ共是に就きましても **三つの場合** がございますそれは嫁を娶るといふ場合と婿養子をなす場合とそれから娘を嫁がしむるのとでございまして其の三ツに依りまして各々考ひを異にするのでございます私には二人の娘限で男兒といふものがないので娶る事に就きましては經驗はあるべき筈はないのでございますが夙に母親に死別れました私は母親の代りをいたしまして **二人の弟を** 世話してゐたのでございますそれで娶るといふ事にも相當に經驗も持つてゐるつもりでございます然し弟等の嫁に就きましては存外心配なく纏まりまして目下では氣樂に暮してゐるのでございますから別段に苦勞といふものはございませんでした、けれ共是非とも御注意申し上げて置き度いと思つて居る事がございますそれは子供といふものは **母の系統を** 六分受けて父の系統は四分しか受けないのじやないかしらと私は思つてゐるのでございますそこで若しも嫁を娶られるといふ場合に際しましたならば充分に御撰擇なさらないと若しも愚昧な嫁でも娶られましたならば其の愚昧の遺傳に依つて一生涯の御不滿のみならず子々孫々に迄此御不滿を遺さしむるの悲劇を御覧遊ばす樣な事となるかもしれません幸ひにして私は弟等の **嫁の爲めに** は格別の心配は遁れる事が出來ましたものゝそれでも弟等が良人として妻たる者に滿足を與ゐてゐるであらうか妻たる人は良人の處置に對して滿足をしてゐるであらうか若しや不滿の裡に可惜一生を過ごしてゐるのではあるまいかといふ即ち母心より出づる心配は常に心の裡より除く事は出來なかつたのでございます抑々も多くの女といふものは **結婚といふ** ものが如何なるものであるか又性といふ問題が如何なるものであるかといふ事をまだよくも知らない内に於て結婚といふものゝ邪魔に遭遇してゐるのではないでせうかそこで或程度迄は其の問題に就ての見解を與ゐてやらなければならないのではあるまいかと存じます然し乍ら其程度といふ事が甚だ重大な決して輕視する事の出來ない問題でありませう

午後

寺田永生筆



空中の大冒險 飛行機の飛乘

米國の曲乘飛行家 リア中尉本月末來鮮せん

世界飛行界の花形である米國飛行機曲藝師ロック、リア中尉は助手一名を從へて本月下旬頃來朝し、五月の空に得意の妙技を振ふ事となつた。右に就き橋本弓人氏は語る『日本 **飛行界が** まだ原始的揺籃に在る時ロック、リア中尉の樣な空中の猛者、大冒險家が來朝して飛行界の爲めに氣を吐いて呉れる事は慶賀に堪へないと思ひます。ロ中尉の妙技中殊に我々が目撃したいと希ふのは數百米突の高空で、迅走する飛行機から他の飛行機にと乘移る早業であつて、既にユニヴァサル活動寫眞會社では映畫として、米國中に紹介して居ります』と(東京)

盜んで踏倒す

京畿道廣州郡退村面山里三百卅一番地農孔英植(三五)は大正八年十一月二十三日より同年十二月十四日迄に於て府内金善洞百六十一番地下宿業朴容謹方に宿泊中七日朴容謹所有黒皮製キット短靴一足(價格十六圓)を窃取し之を京畿道廣州郡慶安面京安里番地不詳吳命伋に擔保として五圓借入れ十四日朴容謹方宿泊中家人の隙を窺ひ宿料金五十八圓四十八錢を不拂のまゝ逃走せるも遂に鍾路署に逮捕五日檢事局に護送さる

所澤で盛な送別會

航空大隊移轉の爲め八日の午後

陸軍航空第一大隊の各務原移轉につき航空隊長有川少將發起の下に所澤町官民 **合同の** 一大送別會を本月八日午後四時より所澤館に於て開催し小澤大隊長、鍋原少佐細谷材料廠長、鐔木眞壁中隊長以下附將校四十餘名を招待して盛宴を張る筈なり同大隊の移轉準備は本月中旬より着手し四月中に器材全部の運搬を終り大隊本部、材料廠、第一第二兩飛行中隊は五月十日頃までに全部各務原へ引移る豫定なり而して各務原に於ける新築 **營舍を** 始め鐵骨六百坪の大格納庫二棟、機關工場その他の附屬建物等總計二十八棟は既に大部分竣成を告げたりと、又第一大隊移轉後の諸建物は航空學校の教導大隊並に氣球隊の教場兵舍等に充實さるべし

瑞巖師と蔭涼會

學生の保護教養に當る

妙心寺の後藤瑞巖師は數年前より學生の教養に盡し既に中學を出て **高等の學府** に進める者數名あり今尙四五名の學生を預かりて教養しつゝあるが其他にも教養を託するもの多くあるも師は其收容力なきを遺憾とし居たるに其後別院内の蔭涼會有志の間に秀才教育の議が起り先づ之が手初めとして中學校等に於て成績優等の學生で直接父兄の保護教養を受くるの便利少きもの又は **學資に多少** の不足ある者を篤志家の家庭に預かり保護教養を爲しては如何との依頼者が多く一々之に應じたのここになり既に一二實行せらるゝに至りたるが蔭涼會員の大村翠雲居士は右につき語りて曰く『後藤老師から近頃學生教養の依頼者が多く一々之に應じきも妙心寺別院にては現在以上收容の餘地なきを遺憾とするに適々なるが若し此等學生の爲めに寄宿舍の如きを設け家庭的にこれが **保護教養の** 方法なきやとの話があつた。然るに其事が蔭涼會有志の間にもいろ〳〵相談された結果其後秀才教育の方法としては篤志家の家庭に預かつて見てはとの議が起り其つて貰ふことゝなり某中學教師の眼鏡に適つた某秀才の爲めに座敷を開放することにした其後又一人の秀才が出て來たので之も共に預からうと思つて居つたが明治町の **村上病院長** が自分も其學生ならば一人預つて見たいものだとの事であつたから其の内の一人は村上氏に讓ることにした此程父本町の某氏も一人預かつて見たいと云ふことになつて居る此等學生を預かると云つても部屋を與へるか少し學資の足らぬものには食事を給する位で濟むのであるから世の篤志家が此等有望學生の爲めに盡すこともなれば **社會の爲め** 誠に仕合せと思つて居る』云々

復活せる人々 (2)

身の丈が伸びた樣だ

田村康〔?〕男爵令息〔?〕氏は二年前より強度の腦神經衰弱に罹り頭痛頭重に苦しめられ二時三時迄も眠る能はず何等感興を催す樂もなく前途を悲觀し快々として樂まず僅ら一生を病魔の爲に蹂躙されん状態で有つたが本社代理部のK8式ヂアテルミーが良く利く事を聞き傳へ父親に伴なはれて來所した。◎治療三四回にして充分の安眠を得るに至り六時頃より朝迄熟睡をなすを得其後三回にして頭痛全く去り爾後數回頭重の感も拭ひし如く歩行にも自ら頭上り胸開き全く生氣を恢復し身の丈が伸びた樣だと頻りに頭を掉つて居られた。◎又凡て慢性リウマチスで堅く成つたものや神經痛はK8式のヂアテルミー頭分で如何に激しいものでも九分位は必ず全治せしめ得る、李完用伯並に李允用男の神經痛も共に六七回にて全快し得た。

見物記 (四)

福岡工業博覽會

開館三日目の二十三日は彼是午後までも云ふのであらう薄い靄が空一面を蔽うて暗いやうで身のぞく〳〵する日であつた。場内各館の出品取付けはまだ終らないと見え **係員は** 血眼で各出品人を督勵し取付けを急がせて居る一方見物客は續々會場さして押し寄せると云ふ有樣で非常な雜踏を呈したまだ品物が揃つて居ないと云つて不平を鳴らして居る見物客は彼方でも此方でも一番人氣を集めて居るのは **裝甲車** と演舞館で演舞館は特等五錢、普通一錢と云ふ手頃である。演舞館の觀覧者は至つて居る。それでも何時も滿員とは景氣のいゝ事此日午前十一時から演舞館に於て盛大な博覽會開館式が舉行された。市中は日一日と博覽會氣分が濃厚になつて來てお祭騒ぎの樣だ。一方福岡市に於ては近く **御來泊** になる東宮殿下に對し何か獻上品を差上げやうと云ふので鳩首凝議の結果博多織及び博多人形を獻上しやうと云ふ事になつた。獻上品は直ちに夫れ〳〵謹製を命じ材料の精選をさせて居るが博多織は **卓子覆** 及博多織の二品で博多人形は『菅公讀書の家』である卓子覆は最も考案を凝したもので清楚な白茶地の中央に金糸を以て大菊花を現はし其左右から下方に向つて赤青の唐草模樣をあしらひ四隅には桐葉を按排した立派なものである。この博覧會の方も初日から見れば餘程整頓したらしい。これ迄として出掛けやう(四門一記者)

歌壇

樺色の酒

師の君と龍山に訪れて 青木しげる

□
はろ〳〵な空の勇士の賜へりと先づ此の菓子なすゝめけるかも
ベルモットうす甘き香にひたりつゝ新らしき歌な誦みあへりけり
師の君のすゝめける酒樺色の甘きが香にもよろこべるなり
つゝましくありさて見れば水色の席に竹内菓子の君あり
厥巣つまぐりたゞ默すかも
夜半の風吹きつのれば潮さゐの音につゝるさて耳澄ませけり
しきりにも耳を澄すはなびゆらむ旅の菓子の夜の風かな

□ 竹内 菓子
罪もなくさかりゆくかなわが乘れるかたへを過ぎしかの電車はも
三角地紅き柱の白き文字濡れて日に立つぬれてわが立つ
師を訪へばわれさ我身を投げ出して泣かまほしくもなる心かな
わか旅の心休めに來る家よ電車の音も波の音と聞く
むらきもの心の亂れかき上ぐる小櫛忘れて師の前に出づ
龍山に來てヲツペを聞くこその初めも今日も同じに嬉し
新聞紙に磯の砂捲く音立てゝ心ほがらに師の家を出づ

□ 山野德兵衛
櫟樹の林の奥に入日ありくろめきて沈むあはれなるかな
はつ〳〵と芽ぶくポプラによどむ陽のみだれて春野風立つらし
まんまろの赤き夕陽山にゐて野面に長きものの影かな
斜めさすあかき夕日に染めぬれてかしこや今は思ふ事もなし
一樣にあかれしてけれ枯野原北ゆかそかに風立つらしも

秋芳
野邊の小田の溜りに春の山ゆらぎて浮ぶ淺黄の色に
山里は霧生の雨も淋しくて本よみながら寢ますかな
ふさ見たるすゝけ障子の破れより銀の旋す春の夜の雨

芳枝
青白き我が頬はいさし力なく澄みし眸も何をみつむる
寢ぶさなく夜さなく默し思ふ事あまりに多し病みて臥れば

次回小說豫告

小說『夜の蜘蛛』は名殘惜しくも不日終結を告ぐることゝなりました次回は左の小說を掲げます

劍舞

碧瑠璃園

婦人問題のやかましき世に、純日本式の婦人を中心とせる小說を起草して、讀者諸君に見らんとする作者の用意を御諒察下すつたら結構です、何れの世、何れの世界へ行つても、月は白く、日は紅く、水は冷たく、火は熱いに極まつて居ます劍舞は日本婦人の踏んで行く道の上に生還らうとする騒草を對るのが目的です、誠迷の力で動かぬものはありません、誠は日月です、火です、鐵です、何物に向つても無限の力を出します、どうか御愛讀下さい、一同は一同と進んで行く中に其無限の力が出て來ます、其無限の力を持つた者が此の小說の主人公です。

大日本國語辭典

(上田萬年氏、松井簡治氏共著) 一卷發刊當時より既に我が學界の一大壯觀さして或は空前の國語大辭典、或は國語界永久の權威ある大辭典、我が出版界の一大壯觀として或は空前の國語大辭典、或は國語界永久の權威的大辭典、即ち上田博士松井教授兩氏が明治三十四年以來廿年の久しきに亘り苦心經營の結果完結大成せられた本辭典は學者は勿論、萬人日常必須の實用的大辭典であり國民最高の典籍である、吾人は日本の如く外來の新熟語日を逐うて增加し且つ國語化しつゝある國に於ては之を總括的に蒐集大成したる辭書の必要を感ずるの切なるに方り英のオクスフオード、米のウエブスター等に比し毫も遜色無き此の世界的一大國語辭典を得たるを喜ぶと同時に著者の獻身的努力なる勞苦と出版肆の義俠的奮闘に對し感謝せざるを得ない、本辭典の特色とすべきは一に語彙の廣汎なること二に語釋の簡明なること三に平易簡明な語を收めたること四に漢字解釋の的確なること五に印刷鮮明、裝幀堅牢美麗なること等が主なるものであつて全四卷五千三百七十頁、大正の聖代を飾るべき本邦空前の大著述である、我が國語の廢滅せざる限り世界に語學の無に歸せざる限り不朽の權威として後世に傳はるは言ふまでも無い、敢へて江湖の机上に推奬する(全四冊特價三十八圓東京神田富山房刊)

△私は精神修養の爲め說教をきゝたいと思ひますが夜や日曜日には外出が出來ませんそれ以外の日で何宗でも何教でもかまいませんが說教のある處はありませんか(愛讀者)本紙に記事が毎も出ますよ(係)△小生は洋畫好の少年ですが諸人畫家にて何方か御暇の折々に本統に繪畫のさ方から御教へ下さる方は有りません△(エス)△内地で女子の入學なゆるす飛行學校は御座ひませんでせうか又入學試驗がありませうかあるさすればどのくらひの程度の理科や數學を學んだらよろしいでせうか又一月の學費はいくらぐらひで何年で卒業が出來ませうか御存じの方が御座いましたらなにとぞ本紙までお答へ下さいませどうかおねがひいたします(AKチ)△SN君に我す海外一

新刊紹介

△教育時論(三月二十五日號)(一千五百數百家及び學生父兄必讀の良誌)東京麴町區飯田町開發社)

△社會及國體研究錄(一ノ一二)社會と思想を對照し專ら社會的指導をせんとする人の爲に數十大家の論文を當して發刊しつゝある誌は本號を以て其の第一年の完結を告げたが更に四月よりは一層紙面上の改善を施すとの事深く研究の步を進める者に四四頁五十錢東京市外巣鴨宮仲社會學研究所)

△女の世界(四月號)青柳氏去りて以來淋しからうと思ひの外近來は一層の賑かさである、花街の情緖もあれば歷史的に文學的に將た科學上、法理上、道義上種々なる方面から研究しようとする意気込みが見える(全四冊特價金三十八圓東京神田富山房刊日本國語大辭典)

△新世界(四月號)ホトヽギスの主戰的論者も大日本の爲め一同に歡迎致しますが何うでせう

[illegible]

□ 吉川 菊一
妙覺寺をりゆけば本堂のうすくらがりに浮ぶまぼろし
佛壇の間にほのけき燈明を見開て眼みさむてわれこれや誰か
日の參眠に見ゆ面影に立つさゝにこれは眠りて終にかへりこ
長きを思ふ遠きを思ふ妙法師法妙解脫女さなりけ
にに會はむとて思ひしかゆめ

東京六華會 青年棋客 敗退棋局 (第二回の十)

大正八年三月十八日
先 向井一男(初段)
村田一(初段)

一三六	ほ十二
一三七	に十二
一三八	に十四
一三九	わ五
一四〇	る三
一四一	を七
一四二	わ八
一四三	を六
一四四	い十一
一四五	ろ十一
一四六	つ十四
一四七	つ十五
一四八	つ十三
一四九	た十一
一五〇	ほ六

〔棋譜圖〕 いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ / 一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

雄基丸著發

雄基丸は七日午前七時入港八日出帆せるが

連絡船乘降客

山常次郎、山崎〔?〕一、國松博、山田公輔、同のぶ、同金八、外八四名、二等四名、石井修二、外〔以下判讀困難〕
いそ、佐藤きく、後藤與介、高國次、山本敬一、中出久雄、大塚良つね、樫田しづ、牛野伊兵衛、一雄、則武定雄、杉野勝之、同、各谷仙太、小日平治、友住かく、る、西亨よしの、山下嘉來、朝倉今、中川來助〔以下判讀困難〕

氣象日報 (九日)

高氣の主分は日本海方面に〔以下判讀困難〕

天氣豫報

晴〔以下判讀困難〕

演藝案内

日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 **大正館** 電話八七三
〇自十四月九日より特別大寫眞提供 〇實寫『〔?〕典生造〔?〕操の實況』 〇滑稽劇『〔?〕』 〇喜劇『不思議の寶庫〔?〕』 〇人情劇『怨の一發』全四千呎 名優ウィリヤム、ダレカン氏ジヨーヂポルト氏マートル、コンツアレス嬢出演
〇尾上松之助 大江山奇談 史劇『賴光武勇傳』全十卷 〔以下梗概、判讀困難〕

本町一丁目 有樂館改 **喜樂館** 電話九七番
〇四月九日より特別映畫封切 冒險奇談『運命の指環』 〔以下判讀困難〕
〇目本一の大劍士柳生重兵衛 日活新撮影『柳生旅日記』全八卷 〔以下判讀困難〕

黃金町 **黃金館** 電話一六二三七
〇四月九日より特別新寫眞 〇新派悲劇『危險の女』 〇悲劇『加賀の忠臣』 〔以下判讀困難〕
〇新派大好評の後篇琵琶歌 〔以下判讀困難〕

後篇琵琶歌 全五卷

新派大好評の〔以下判讀困難〕

鐵の手袋 四卷全十五篇三十卷の内

明治町 **浪花館** 電話一六〇番
[illegible]

本町二丁目 **壽館** 電話七八五
四月五日より第六回替り番組
前狂言 黒田騷動 栗山大膳
中狂言 源平布引の瀧 實盛物語
切狂言 伊賀越 夕霧伊左衛門 吉田屋 場

新田帯革
朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
新田式水調革 ゴムベルト〔?〕

貴下の町や村に本屋がありますか
△三十圓の資本で開業出來て △月々五十圓は確かに儲かる本屋のない町や村には一日も早く三光社特約店の設立を願ひます三光社特約店は、いろ〳〵の本や雜誌を出版する東京で有名な本屋です、今度各町一村一名を限り特約店を募集する事になりました、ごんな片田舍でも小說や講談本を讀む人から小學や中學等に通ふ子供を始め其他本を讀む人の數は思ひの外に多い筈です從つて本屋の無い町や村は勿論本屋のある町や村でも遣り方に依つては本屋商賣程面白いものはありません資本は僅か三十圓で月々五十圓は確かに儲かる事は保證します希望者は二錢切手封入申込次第詳細案内書無代で進呈します
東京九段下 三光社地方部

連日滿員御禮の爲特に普通入場料
千五百圓探偵大活劇 連續冒險 鐵の手袋 全十五篇三十卷の内四卷
大好評の 琵琶歌 後篇 全五卷
黃金館

米國直輸入
世界最高級自轉車 ピーアース號
本年度第一回分入荷
數量に限りあれば至急御注文を乞ふ
護謨製品 針商 京城南大門通五丁目二十番地 輝松商會 電話二四〇二番

いやでも治る りん病七日藥 (申込次第急送す)
〇〇〇慢性の淋病 膀胱加答兒 婦人こしけ 〇〇〇急性の淋病 男子睾丸炎 子宮内膜炎 〇〇〇女子の淋病 尿道の狹窄 淋毒症一切
永年實驗の結果強度の藥で胃腸腎臟其他に害なき事を保證す化學作用早く治る不思議の藥七日間服用せよ代金貳圓五拾錢
本舖 大阪市堀筋八幡筋停留北 山口藥院

刑事專門 辯護士 本木房吉
京城府黃金町三丁目二十番地 (大阪ドラック東側小路入ル) 電話長二四一三番

蓄音器と樂器 ピアノ オルガン
山口樂器店
京城本町二丁目 振替口座五三二五
タカロク代理無休〔?〕

職工及徒弟募集
高級仕上工(內鮮)若干名
一旋盤工見習若干名
一仕上工見習若干名
右希望者は來談ありたし但し見習工は尋常又は高等小學校卒業せる者年齡十四歲以上十七歲未滿にて府内に保證人二名を要す
京城府西界洞三〇〇 京城鐵工所 電話一二二三番

小男も大男となる
◎伸長器の發明◎ 器械無料貸與
男女共背が低い爲一生の間何の位損をするか分らない最近特許局の登錄を受けた身長器は全身の骨と骨との間の軟骨を伸長せしめ高く穩かに背を伸ばす器械でるが大いに發明一般に希望者へ無料にて貸與す
詳細を知らんと欲する方は返信料添へ申込まれよ
東京京橋區入船町 發器械療法所

朝顏種 菊苗 賣
銘鑑入用は郵券を乞ふ 大阪淀屋橋通
朝顏菊專門 細井秋好園

內科 眼科 小兒科 入院 肛門病 痔疾 特種注射
京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前) 院長本田建 本田病院
附屬 京城肛門病痔疾療院
電話一四四三番 振替京城一八二二番
(根治療法解說書入用の方郵券十二錢)

倉庫營業開始
◎四月一日より
本社の特色 倉庫の構造堅牢なるは勿論位置最も築港に近きを以て貨主の利便極めて多く其藏入、藏出庫の如き他倉庫に多く其類例を見ざる所なり
營業方針 誠意を以て貨主の便宜を計るに努め善良なる管理人同樣の注意を以て各位の要求に應ぜんと欲す
仁川海岸町三丁目 仁川倉庫株式會社 電話三三二番

廣告
一、賣却物件
一號 釜山府凡一洞拾參番地ノ貳 一、地上建設 坪百八拾壹坪 同所
一、木造瓦葺平家住宅及倉庫壹棟(鐵道附)建坪四拾參坪五合
一、木造瓦葺丹平家倉庫壹棟此建坪五拾貳坪
第二號 釜山府富平洞貳丁目 木造瓦葺家屋一棟此建坪四拾壹坪
付屬 貳號 木造瓦葺平家事務所壹棟此建坪六拾貳坪七合五
第三號 シヤフト及革帶壹式 電動機壹臺
第四號 電話釜山五八六番壹個
第五號 手締壓搾機四臺
第六號 〔?〕
右物件現狀ノ儘入札方法ニ依リ賣却候條御希望ノ方ハ釜山鎭棉工場ニ就キ詳細御問合ノ上來ル二十日午前十時入札相成度候也
大正九年四月九日
木浦 朝鮮棉花株式會社

山階宮芳麿王殿下

山階宮芳麿王殿下
＝近く臣籍に御降下＝
八日の皇族會議にて御決定の 皇室典範内規に基きて 宮相奔走の重大問題は是れ

波多野宮相は勅を奉じ昨年來皇室典範增補第一條即ち王は勅旨又は情願に依り家名を賜ひ華族に列せしむる事あるべしとある

規定の準則を制定すべく奔走中なりしが既に各皇族を始め關係各大官にも諒解を得たるを以て一月八日午前十時宮中に於て皇族會議を開かせられ正式に決定を告げ直ちに實行の運びに至るべきが元より典範增補の準則及内務の事なれば別段正式に公表せらるゝ事なしこ傳へらる而して

此の内規に依り臣籍に降せらるゝ宮殿下は故山階宮菊麿王殿下第二王子芳麿王殿下にして同殿下は來る七月初旬を以て御成年に達し給へるに依り同月中若くは翌八月中に華族に列せらるゝなるべしと承はる顧みれば明治四十年二月北白川宮輝久王殿下臣籍に降下あらせられ小松侯爵となられたる以來今日まで同典範增補に照應すべき

臣籍降下の情願等もなかりしが今回更に典範增補の準則制定と共に芳麿王殿下の臣籍降下の實現せらるゝは偏に同殿下の御英明に基かせらるゝ所以にして轉て華族こして皇室の爲め國家の爲め誠忠を致せらるゝ事實に畏き極みといふべし宮中に於ける同會議は

伏見元帥宮を議長とし閑院元帥宮、東伏見大將宮、久邇中將宮、梨本中將宮、朝香、東久邇兩少佐宮、山階少尉宮、波多野宮相、原首相、横田大審院長等列席し、波多野宮相は聖上陛下の御近狀並に皇族會議令第十二條に依り提出議案に就て詳細に亘り說明する所ありて右内規に關し僅々八分にて閉會したり

邦英王殿下の臣籍降下に就ては御附武官の間に傳へられたるも未だ御成年に達せざるを以て右は全然未定なりと

くの誤傳に過ぎず然も此事は昨年十二月中帝室制度審議會に於て決定引き續き樞密院本會議に於いても審議を終つた事で殿下臣籍に御降下遊ばさるゝ事は全然殿下の聰明なる御所思に基きたる赴きに拜聞す（東京）

明年は北京で
國際辯護士大會を開催
上京中の鮮人辯護士歸城

▲國際辯護士大會は四月一日より三日東京で開催され中華民國、露西亞、葡萄牙、暹羅、ボリビヤ、チェックスロバック、比律賓等の各國代表辯護士三百名日本側こ合計千二百の辯護士が春光の下に會同し三日に亘つて會議を續け芝紅葉館の晩宴で大會を無事終了したが朝鮮側から大會に出席した辯護士張燾氏外五名は七日夜歸城した

▲張辯護士は語る『朝鮮からは六名出席しました京城から四名こ釜山平壤から各一名宛でした大會は一日から三日まで、千二百の同僚が胸襟を開いて歡談しました其結果愈々國際辯護士協會が設立され我々も會員の末班を汚しました明年は北京で大會を開く筈で爾後毎年一回各國順々に大會を開催する事に決定しました

▲來年は恐らく朝鮮側からも多數出席するでせう。何しろ私も東京へ行つたのは廿二年振りで明治廿二年に歸鮮した限なので方角さへ碌々分らず全くの赤毛布になつてしまいました

▲實際東京の發達は驚くべきもので市街も人間も生々こして活動してゐるのが一番眼に著きました』

光州の櫻
見頃は此の日曜

光州の櫻は日增しに綻開此日曜は見頃なり（光州特電）

控訴公判
姜宇奎等の 愈々來る 十四日開廷

爆彈犯人姜宇奎外二名に對する控訴公判は愈々來る十四日午前から京城覆審法院に於て開廷の筈なるが被告姜宇奎は相變らず頑強に傲語し辯護士なんご要らぬご云ひ居る由被告崔子南の爲には辯護人松本正寛氏辯護に當る由

マシエロ中尉操縦の スヴア式盤谷着
フエラリ中尉の一機はカルカツタにて轉覆す

マシエロ中尉操縦の東京行スヴア式飛行機は盤谷に到着したりフエラリ中尉操縦の飛行機はカルカツタに著陸の際顛覆したるも別に故障を生ぜず（羅馬電報）

蘭貢で伊機破損す
試驗飛行て著陸の際

羅馬東京間飛行の途にある伊太利飛行家フエラリー中尉は蘭貢に於て試驗飛行を試み著陸せんとしたる際機體を破損せり是が修繕には一週間を要すべし（蘭貢電報）

臺中新竹の 蕃人騷ぐ
警官を非常召集して活動

臺中新竹兩廳下の蕃人頻に騷ぎ三日の如き臺中廳下マビル八社の蕃人卅餘名はマビル八駐在所を襲はんこし危險なるより各地の警察に非常召集令を下し五日より活動を開始せり（臺中電報）

大運動會不許可か
當局思案中 騷擾惹起を慮り

京城商工業者主催の市民聯合大運動會は京城商業會議所内に於て商工組合代表委員の協議進行し具體的計畫が出來上つたので警察側に屆出た然るに所轄署こ第三部この意見には時節柄

騷擾を惹起する機會を與へる結果に陷りはすまいかこ躊躇しつゝあるやにて大會許可は六ケ敷いこも傳へられてゐる。朝鮮の現狀こしては大分冷靜になつて來てゐて今更獨立萬歲でもあるまい過般陸軍大飛行の際の如きも内鮮人數萬が雜集したこしても

其筋の取締さへ當を得てゐるならば大丈夫獨立萬歲騷ぎもあるまいこ樂觀してゐる人も尠くない果して警察側が此意義ある市民の自發的遊樂を禁止するか否かは注意すべき問題であらう

感激ご奮鬪
を力說する 後藤靜香氏

平易な言葉で以て聽衆を魅して了ふ

修養團幹事長後藤靜香氏の修養に關する講演は入城以來好評嘖々各處からの依頼引きも切らず席暖まる暇なき程歡迎されて居る六日は午後三時から遞信局の依頼に依り同局吏員並に女子事務員の爲め爲替貯金監理課樓上に於て約二時間に亘る講演を爲したが、吾々人間生存の第一義は捷たんが爲であるこ先づ冒頭に說破し氏一流の修養を說く雄辯は外國語を用ひず難解の辭を使はず切問到を極めた。氏の講演は何人の頭にも直ちに入り易い言辭を以て諄々こして說く處は『國家』及び『向上』『共同生活』にある。氏が最も力強く叫ぶのは『感激』及び『奮鬪』である。而して氏の講演は豐富な實例の引證こ該博な智識經驗を基こした丈けに聽衆は徹頭徹尾引入れられて倦む事を知らない、不知不測の間に感動させられて了ふ侍坐局長を首め一同感に堪ねぬ樣子であつたが青年男女には此上もない修養の伴侶こ謂ふべしである。

ラズノリノウエ市街と戰死した覓竹四郎中尉

戰死した覓中尉
咸興步兵第七十四聯隊より出征 六尺に近き偉丈夫 負傷した藤岡中尉も同聯隊
＝小泉軍通譯官談

ラズノリノウエフの戰鬪に於て小隊を指揮し守備隊の最左翼にありて優勢なる敵の包圍を受たるも奮戰力鬪中隊の任務を全ぜしめ終に壯烈なる戰死を遂げたる步兵中尉覓竹四郎氏こスラヴヤンカに於て微傷を負へる步兵中尉藤岡彥衛氏こは共に咸興步兵第七十四聯隊より出征したるものにして朝鮮とは緣故淺からず右兩氏の人こなりに就き小泉通譯官は語る

覓中尉も藤岡中尉も私は南部烏蘇里派遣隊に屬し出征中心易くなり、

陣中餘暇を見出しては圍碁を戰はしたものです今朝も今朝こて覓中尉が戰死した報を受け取り、坐ろ懷舊の情に堪へず、故人の寫眞を眺めて在りし日を忍んで居ました。中尉は青森縣の人、明治四十三年十三月少尉に任官し、大正二年十二月中尉に進級しました

歲は三十一 確か未だ獨身だつたやうです、六尺近い偉丈夫で頗る快活な人でしたが少しも人に似合はず頗る落付いて少しも物に動ずるこ云ふ風はありませんでした。昨春不逞鮮人が新韓村を策源地こして獨立運動を開始した時も、常に密偵を使つて鮮人の行動を探知し、暴動の勃發を未然に防いだ手段などは

誠に鮮かな 手腕でした。又部下の下士兵卒からも慕はれ氏も亦隔てなく愛して居りました。追悼品に御菓子でも來るこ少しながらも部下に分配するこ云つた風で、其の玉の如き溫情は能く部下をして敬慕せしめました。碁は好きでしたが餘り上手ではありませんでした

陣中露語を 研究し能く露西亞の子供こ無邪氣な話ばかりして居ました。今や即ち亡し、在りし日を思へば悵然こして夢のやうです、斯うしてお話する中にも其の麗かな面影が眼に浮んで來ます

藤岡中尉は 大正元年十二月少尉に任官大正五年四月中尉に進級矢張り青森縣の人で年は三十歲だこ記憶してゐます、是も覓君同樣五尺七八寸もある偉丈夫で頗る痛快な人です碁は覓君より巧く、寫眞も上手でした能く露西亞人の婦人や子供に

寫眞を撮して やつては陣中の寂しさを慰めて居ました。兩氏こも痛快な人だけに一入華やかな戰爭をした事こ思はれます云々

是迄の型を破つた 寺内伯の銅像
充分に腕をのばして異樣な藝術的なものが作りたい
立案略成つた 北村西望氏談

田中陸相後藤男の發起になる故寺内伯銅像は之を青年彫刻家北村西望氏に依嘱したが立案略成つた同氏は語る『今の銅像こ云ふ銅像は何れも靈々こ立つて居る丈で全く無味乾燥なもの許りですから是非一つ變つたもので

眞摯な藝術的なものを作りたいこ思つて居たのですから丁度寺内伯の銅像製作の依囑を受けたのを幸ひ半裝飾的の藝術味たつぷりの所謂好い作品を出來したいこ考へました全く從來の風を打破した自由な製作をする考へです、姿や顔を似せる丈けのものなら譯はありませんが變つた腰掛を用ひたり

人物の臺に、藝術的な半裝飾的な彫刻を用ひたりするこ何倍こ骨が折れるのですが其代り好いものが出來るのです寺内伯の顔は特徴があるので製作も易しく非常に面白いこ思ふ大體の計畫は先づ寺内伯が朝鮮に因んで虎を思ふ樣圖案化した腰掛に腰を下ろして居るのです其臺の下に前面には日の御旗背後には月の御旗左右兩側には

戰の神と鷲 平和の神こ鳩の彫刻を配するので大きさは高さ全部で一丈六七尺になりませう私の嬉しい事は製作圖案を全然私の自由に許して呉れて勝手な此の圖案を許して呉れた事です、作家を束縛しないのは好い事です、全く時間に制限をせず作るものを作らせる所以で藝術上の作品は作家の氣分如何に關係するのです、私も此製作は思ふ儘に

自分の腕をのばし一生懸命にやらうこ考へて居ります作り上る迄には三年ばかりかゝりませう何しろ裸體の人形一つ作るにも六七箇月要るのですからね（東京）

故寺内伯の銅像

防疫幻燈班

防疫思想普及の爲め去歲虎疫流行の際北京狀況を映影せる幻燈を以て警務局衛生課にては四の幻燈班を組織し各地に衛生思想の宣傳を行ひしが乙班の第三班は平安北道に、乙班の第四班は全羅北道に向け何れも八日出發したり

過激派から死刑を 宣告された一貴婦人
執行を猶豫されて塹壕掘
二百餘名の露國避難民 サウザンプトンに到著す

露國よりの避難民二百五十名は三日サウザンプトンに到著せるが其過半は貧困者にして過激派の爲め拘禁されたる者多し一貴婦人は曰く私は死刑を宣告されたるも執行猶豫され過激派の爲め塹壕を堀る可く強制されたり窒扶斯は全露國を通じ猖獗し食料は莫斯科に於ても缺乏し若し之を得る事あるも其代價の高き事常人をして購買するを得ざらしむ（羅馬電報）

又々汽車へ投石
困つたものだ

汽車投石者の取締は警察官憲に於ても從來注意し之が絕滅を期しつゝあるも其跡を絕たざるは誠に困つたものなるが又々去る五日午後十時半頃南大門發元山行列車が元山里第二踏切に差蒐る時投石せしものあり爲めに二等車窓硝子一枚破損せりこ

怨の殺人
小刀で殺害 犯跡を晦はんが爲め 大金を奪去る

慶北達城郡公山面中大洞酒幕業[illegible]の里方へ去る三日午前一時より七時迄の間に[illegible]を殺害したる上現金百二十圓及び衣類三點を奪ひ逃走せるものあり所管大邱署より福田司法主任警部以下四名は現場に急行して

犯人捜査をなし嚴重取調べたるに彼は遂に包みきれず一切を自白するに至れり今其の次第を聞くに今より六年前妻の妾某が妊娠中なりしに同人に對し汝等は何人子供を産むこも養育し得ざるべしこ惡口なししにより爾來同人を怨み折あらば怨みを晴らさんものこ思ひ居りしものにて三日未明今夜こそこ

小刀を懷中して同人方に乘り込み熟睡せる[illegible]の咽喉を三四回刺し殺害し若し此儘に歸れば自分の所爲こ判明すべしこ思ひ強盜の仕業こ見せかけんが爲めに現金百二十圓を奪ひたるも自分には其金の必要なきのみならず斯かる大金を自宅に置ては露見の虞もあれば自宅の

土堀の中に隱し又兇行に用ひたる小刀は河中に棄てたりこ申立てたるが更に角大邱署にては強盜殺人こして大邱地方法院檢事局に護送する筈なり（大邱）

金指輪を煎じて呑む
からこ言葉巧に詐欺をはたらく

住所不定[illegible]は三月廿五日午後七時三十分頃府内本町四丁目北中澤留所附近に於て豫て知合なる北米倉町九六番地李成彩こ女李鄭紅（こ）に對し金指輪を煎じて服用せば婦人の大妙藥なればこ一時貸與へ呉よこて鄭紅所有の金指輪一個（代價二十圓）を詐取し即日同品を貞金町四丁目質商金某方に入質飲食に消費し同日午後八時李成彩方に至り同人が不在にて妻女の留守居をして居りしを奇貨こし主人の使なりこ稱して外套を詐取せんこ爲したるも妻女に氣附かれ目的を遂げず逃走せしを本町署の手に逮捕七日檢事局に送致さる

龍山遊廓紛擾
慾こ權力爭ひから

桃山樓主遊廓新舊役員間に複雜なる紛糾生じ互ひに相反目し下らぬ權力爭ひより終には告訴沙汰さへ惹起し益々紛擾を來しつゝあるが是が事件の中心人物には元憲兵大尉にして菊水樓主谷川こしの男妾をなせる田村某、勝龍寺の住職永野某、學校組合議員大村某、元組合長戶田某、桃山病院囑託醫野某等、互に慾こ權力爭ひこを以て入り亂れて暗鬪し女郎屋だけに幾多の醜聞を流しつゝあり其の筋に於ても目下取調べ中なるが事件の發展に伴ひ幾多の醜聞は暴露さるべし

麗な春の日曜日を
銘仙新柄デー
本社代理部にて

四月十一日（日曜）十二日の二日間本社代理部に於ては、秩父銘仙新柄デーを開催し當日は皆樣の御滿足を得るに足る流行の新柄を澤山陳列する外に、時價三割以上の格安品を五百反限り提供廉賣する筈にて一般の觀覽を歡迎します

人夫の溺死
哀れな因緣

四日午後八時三十分頃仁川築港船渠内に於て稅關櫻井丸水夫張化春（五六）が誤つて墜落溺死を遂げたり同人は仁川府新花水里に居住する者なるが當築港事務所に在りて

煖爐の炭灰をバケツに入れ事務所外に投棄したるに其の傍に在りたる綱索に躓き付きたるを以て之を港内の水中に投棄せんこする際誤つて墜落せるものなりこ然るに不思議な因緣こも云ふべきは前人は妻子及び皆畔こ五人暮し妻女の先夫こして一度は離別せる某（五〇）の老人あり四十年以前より

病氣に罹りて何の爲すこともなく先妻なりし張化春の妻を便りて同居徒食せるに張は此妻女の先夫こ十年餘に一日の如く不思議に仲睦まじく暮し來りたるに先夫の某は去る一日遂に病氣の爲め死亡し恰も四日は先夫の野邊の送りを濟ましたる日なるが其夜張化春は前記の過失より

溺死を遂げたりこは不思議な因緣こ云ふよりも家族の悲嘆は同情に餘りありこ（仁川）

獨身者病死

本籍石川縣江沼郡瀨越村字潮津七十七番地の三目下京城府仁寺洞二百五十五番地井村文吉方に居住日稼ぎ業藤田そよ（九）は四日自宅に於て突然死亡したるも獨身者にして親戚知己も無く身柄を引取る者無きより同居人井村文吉より鍾路署に之が引取方を願出たるを以て直に警察醫をして診斷せしめたるに急性肺炎に侵され死亡せし事判明し行旅病者こして埋葬せり

京城府代表として 御盛儀參列者
古城菅堂韓相龍兩氏に決す

李王世子殿下御婚儀に對し京城府廿萬の内鮮府民は衷心から捧ぐる滿腔の祝意こ慶賀こを親しく王世子殿下に致すべく

京城府代表者を東上せしむる儀に就ては過般來京城府で愼重協議中であつたが内鮮人から各一名宛の代表者を東上せしむる事に確定したが此程愈々其代表者は昨年八年に定めた古城菅堂、韓相龍二氏に決定したらしい京城府の庶務部長は語る『昨年既に古城、韓二氏こ決定して居たので今度も二氏に代表者こして行つて頂く事にして

既にその承諾を得ました府こしては別に昨年李王世子殿下御婚儀に際し提供の美術品製作所で謹製した螺鈿の壯麗な机を兩殿下に獻上する筈で之をお送り申し上げる筈です』古城菅堂氏を訪ふこ『京城府から御話しが有つたので御引受けしました何しろ樂務多忙ですが萬障を排して遲くも廿三四日頃には東上の途に就く筈です』韓相龍氏も王世子殿下御成婚に

心からの御喜を申し上げる爲め古城氏こ一緒に東上して御婚儀に參列する筈である

圍碁大會（來る十一日）

正午より龍山[illegible]に於て圍碁大會を開催する由なるが優勝者には特等金メタル以下賞品を呈すべし

龍山の灌佛會 八日は例年の如く龍山東本願寺にては午後二時より灌佛會を催し[illegible]花祭り甘茶の接待あり參詣者境内に溢れたるが大念寺等に於ても甘茶の接待したり

○吉野町の火事 七日午後二時四十分府内吉野町二丁目六七番地無職[illegible]方より發火し[illegible]建草葺屋根上五間燒失三時鎭火せり原因取調べ中

○總督府の小使募集 總督府にては年齡四十歲以下にして身體強健品行方正京城市内に確實なる身元保證人ある者を採用すべく月收は四十圓位にて被服を貸與する由志願者は履歷書携帶[illegible]採用係掛りに出頭すべし

○忽那氏へ記念品 [illegible]一同は四百餘圓を醵金し金側時計鎖付及[illegible]花瓶を[illegible]しめ記念品こして贈呈せり

○内地警察消防實見談 過般[illegible]上し東京警察官講習所で消防[illegible]を終了歸任したる京畿道の[illegible]田警部補大樂巡查部長二氏の内地警察消防實況談を來る十日午後一時より管下警察官一同の爲に南大門消防所で擧行すべし

○中村家結婚披露宴 中村再造氏[illegible]山崎又敬八兩家結婚披露宴は七日夜朝鮮ホテルに於て盛大に開かれたるが官民間知名の士の出席者百名ありたり

演藝…▲黄金館 九日より新番組[illegible]
▲大正館 九日より新寫眞差替[illegible]
▲壽座[illegible]

頃
兒島中將の[illegible]評判が高い▲七日李王殿下が金谷御陵參拜の節お供の國分次官や武藤記課長は鹽の食卓に置かず眞山の芝生に食事を取寄せ春光こ共に心ゆくばかり味はつて居たのは飽までも雅びて見ゐた▲市内に圖書館設立要求の聲が大分高いが最近に或方面から具體的議が提議されるこの噂がある。

院長病氣中ノ處全快本日ヨリ診療ニ從事ス
四月八日
飯塚齒科醫院
東京醫科大學齒科醫 院長 飯塚保久

[illegible]

氣溫 七日正午 最高 最低 [illegible]

仁川取引所新築
總工費二十二萬四千圓 善美を盡した設計內容

仁川米穀取引所は客冬市場立合所を改築擴張したが今度は其の事務室を改造し併せて計畫された倉庫をも建築する事となり五日午後二時競爭入札に附した結果

名草組の落札 する事となり事務室煉瓦二階建百坪十一萬二千三百圓倉庫三棟六百五十坪十一萬一千二百圓合計二十二萬三千五百圓の工事は直ちに着手せらるゝ事となつた、百萬圓の利益を計上する朝鮮一は愚か殆んど類の稀なる仁川取引所の發展振りは近時實に眼醒ましいものがあると云はねばならぬ建築の內容に就て其の設計圖表を見ると「現在海岸町穴門通路に面する張錫祐仲買店迄を敷地とし其間實に一百坪

煉瓦二階建の 外壁には更に耐火煉瓦を以て外面を裝ひ屋根はスレート葺とし其の棟の高さは地上四十尺現在附近埋立地に建築中の商銀支店よりも更に一頭地を拔くと云ふ階下は總て事務室で大廣間建坪百坪の內四十五坪は打通しの事務室となつて居る階上は第一第二の會議室を設け社長室に善美を盡し乘査室及び食堂の外に記者室なるものを設けてある此

擴大な建物の 二階には二ケ所の昇降階段があり二階中央に廊下を設け西側が第一第二會議室及び社長室に充て東側廊下を隔て、第一會議室の前に記者室があり順次乘査室食堂と並んで居る室內は總てサーム暖採暖は露西亞式にペーチカを用ふ、そして大玄關は東側穴門から海岸の一直線に下つた處で正に市の中央に位して居る、落成の曉は海岸一帶に於ける偉觀であらねばならぬ事業着手は本月中で

十月頃迄には 竣工の豫定 事務室を今の協同組に移し協同組は近々商町へ仁川旅館横に移る張錫祐仲買店の跡に引越濟みで早や家を解く許りになつて居る倉庫建築は一棟を埋立地の商銀建築地の隣に接續して設け他の二棟は現在土木局出張所の前面の一角に建設する總て外壁は煉瓦一枚半の厚さを保ち總坪數六百五十坪收容力は約四萬石の受渡米は優に容るゝに足る因に山根町に

建築基礎工事 を竣しつゝある社宅十五棟は經費の都合により其一部のみを進捗せしめ他は時機を待つ事となれり(仁川)

畜牛保險 慶北の計畫

慶尙北道畜産組合聯合會にては豫て畜牛の保險なるものを計畫し既に朝鮮總督府に之が認可申請を爲しあるが總督府に於ても種々調査の結果其の趣旨に賛成し居れるもの、如きも尙調査の必要あるを以て目下總督府當局一員は過日出張調査中なるが近く歸任の筈に付き多分來る六月頃には之れが計畫の遂行をなすに至るべく實に朝鮮に於ける畜牛保險なるものは慶北以て嚆矢とすと(大邱)

果苗需給 釜山出入數

果樹苗植付け季節を控へたる三月中釜山港に移入されたる果樹苗は苹果苗を第一位とし桃梨柿葡萄等の順序に合計約五十萬本の多きに達し居れり仕出し地は埼玉、廣島兵庫、福岡各縣下地方にして其內俗に關東苗と稱ふる埼玉縣下の苗木最も好成績にして福岡縣下の苗は病蟲害に罹され居れるもの割合に多しといふ而して苗の培養に就ては各縣共に奬勵し隨つて檢査嚴正に行はるゝ關係上從前とは格段の相違にして年々改良進步の跡顯

安東特產市況

安東縣客月下旬中に於ける特產物市況次の如し

豆粕 日本內地は米價安に越して諸肥料下落のため大豆粕は三月下旬に入り更に四五十錢方の下落を見先行益々安氣配の入銀あり安東市況も之れに連れて漸落步調安東貨棧値段三圓九十五錢見當にても殆ど商談を見ず買手一齊に見送の商狀にして手合せ殆んど皆無の有樣なり

柞蠶絲 横濱定期生絲相場は前旬に比し幾分反撥を見たるも柞蠶絲市況には差して影響なく蠶米絹紬輸出不振のため商況更に活躍を見ず從つて安東作業等も殆んど手合を見ずして本旬を逸れり尙柞蠶絲は小口ながら聊々手合せあり本旬二萬斤見當の商內成立せり

材木 は目下端境期とて商況不活潑なるが加はつて例年の相場五十萬石に比し僅十萬石內外の在荷に過ぎず先安を見越し註文手控の商狀なれば大口の取引なく本旬を逸れるが爲暫くは見送の狀態を持續すべし相場は行留し模樣なるも依然强調に五月に入らば新材の流下と共に活躍すべく觀測しさる(安東縣)

守備隊交代期

獨立守備隊第四大隊は來る五月上旬上番兵の來著あり同中旬頃滿期兵の歸還を見るべし安東守備中隊の本年滿期兵は上等兵以下七十六名にして上下番兵共第八師團弘前步兵第五十二聯隊なりと(安東縣)

全北教員養成

全羅北道管內に於ける鮮人教員の不足は七十餘名にて教育上多大の支障あるを以て本年五月上旬より全州に教員養成所を設置し第一期生は希望者より選拔して入所せしめ各期とも六ケ月を以て終了するものにて經費一萬圓を計上せりと(全州)

金融巡回講演

忠南金融組合聯合會は四月十日より向ふ十七日間道內各金融組合定時總會席上左の四班に分ち內鮮兩語を以て巡回講演會を開催すべく講演は主として組合的精神の鼓吹並に勤儉貯蓄の奬勵に關するものなりと(公州)

▲第一班(大崎山藤兩理事)▲第二班(山崎藤戶兩理事)▲第三班(田代竹嶋兩理事)▲第四班(佐下楢河野森三理事)

釜山就學兒童 各校收容狀況

釜山府內に於ける新學年就學兒童六日現在に依る總數は八百二十六人にして通學區域規定に準據する各小學校割宛數は

△第一尋常小學校二百十三人△第二尋常小學校百十九人△第三尋常小學校百三十八人△第四尋常小學校百二十八人△第五尋常小學校五十八人第六尋常小學校百八十六人

因に各校共校舍の狹隘を感じつゝあれば其第七高等小學校新築落成の上は第一尋常小學校通學就學兒童の過半を之に收容すべく實現の曉は大に於て授業上大に緩和さる可しと(釜山)

新義州府條令

新義州にては今般府令を改正し四月一日以降改正せし四月一日より實施したるが其の改正の主なるものは戶別稅を廢したる事物品保管業に課稅したる事、料理屋飲食店の稅率を約二割方引上けたる事、從來自轉車、自働車、荷牛車、人力車、客馬車等には鑑札を交附せずして單に稅金のみを徵收し來りたるを新に鑑札を下附することゝなりたり(新義州)

林業社創立期

新義州鴨綠江林業株式會社は來る二十六日まで第一回の拂込みを終り五月十五日頃創立總會を開くに至るべしと(新義州)

新義酒造創立

新義州酒造株式會社の創立總會は三日午後四時より公會堂に於て開催豫定の通り各種の報告承認ありて重役には左の通り決定せり(新義州)

▲專務取締役 自在丸貞治 ▲常務取締役 大谷松次郎 ▲取締役 松隈哲次、槇野春次郎、佐藤貞一、加藤鐵治郎、永井雅之 ▲監査役 伊藤茂雄、大塚留五郎、島田德之助

月尾島を彩る 觀賞樹の數々
櫻の滿開は月末
今年の記念植樹で後はもう餘地なし

月尾島は年々色增す植樹の影に仁川月尾島は更に木樹を以て彩られ本年の記念植樹を最終として早や此上の植樹は餘地なき迄に植ゑ込まれた木樹の種類は日本松、櫻、杉、楓、アカシヤ、躑躅、柳其他凡そ十種類其數實に數十萬本に上して居る、元より植樹當時の稚木は茲十年の歲月を俟たねばならぬが年々に延び行く松の高さは十餘尺に達せるもあり吉野櫻の約一千本は何れも十八尺以上に及んで年々歲々花爛熳の裝ひを凝らす今年も殊の外多くの蕾を附け春の光りに何時とはなしに膨らみつゝありと云へば此の月末ともならば滿山悉く花に飾らるゝの美しさを見するだらう因に本年記念植樹をした數は松一萬二千本栗五百本櫻三千本銀杏二千本に達して居る(仁川)

學校增築工事

新義州小學校々舍一教室煉瓦建平家二十五坪の新築工事は十五日頃より着手するに至るべしと(新義州)

釜山府協議會

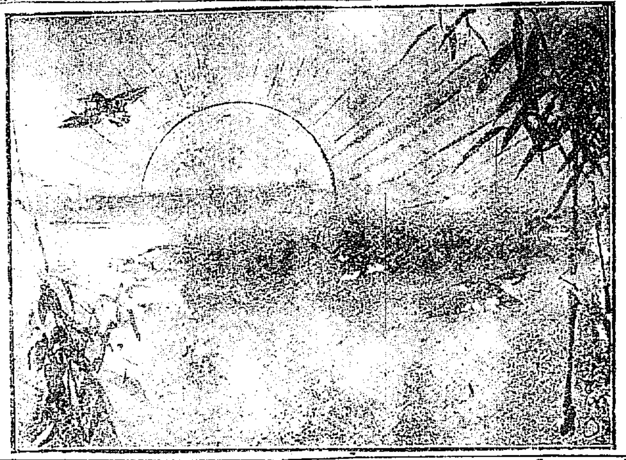
恰も商業會議所評議員選擧期日と重複し流會となりたる釜山府協議會は六日午後一時より府廳樓上會議室に於て開會大正九年度豫算及び其の他の諸問案を議決確定せり(釜山)

全北輕鐵增資

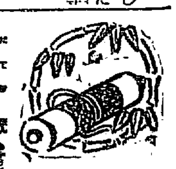
全北輕便鐵道株式會社は過日臨時總會に於て增資を決議し目下認可申請中なれば近く新株を公募すべしと(全州)

石原府尹歸任

東京大阪方面に於ける社會事業視察の爲め出張中なりし新義州府尹石原留吉氏は本月十日頃歸任すべしと(新義州)



伊達騷動
第百九十六席　小金井芦洲講演



伊達家の本領安堵

此時水戶侯が 水『此度松平上總介一門伊達安藝と申す者後見兵部少輔並に原田甲斐と申する者を相手取り、訴訟に及びし件は係り板倉內膳との事吟味の儀予も且つ如何なる筋か承知したい』と仰せられる、畏まつて板倉殿御用箱から安藝の訴狀を取出して是を讀み上げ取調べに掛かり最初からの事を洩れなく申上げ 內『右上申致しましたる通りにて甲斐は既に罪に服すべき處合に相成り及傷致したるは申開き成り難く最早此儀處刑になるよりは無法にも安藝に刃傷致しました事に相違無之不屆き至極の所爲に御座ります』と申述べた、一座は水を打つたる如くシーンとした、水戶侯は 水『伊達代綱宗不行跡の時に其廢を以て改易仰付けられなば異議あるべからざれ共、其際は隱居閉居仰付けられ、當上總介は幼若にして何の辨へもなし、萬事後見の知る處、其後見兵部が申付けたる甲斐が不埒、是は容易ならざる大罪、安藝は飽迄主家を思ひ詰め其身を失ひたる誠忠の者、是りや兎も角も御仁政あらせらるゝこそ當然……』と仰しやつたのは伊達家を安全に計つて遣はし度き御存念、雅樂頭此時 酒『仰せ御尤もには候得共吟味中未だ落著にも至らざる中に、天下評定の席に血潮を以て汚したるは以ての外、御改易も仰せ付けられ然るべきなれど當主幼沖の故を以て格別の御慈悲にて十分の一御立置き相成りますれば宜しからんと存じますが 水『イヤ待て夫れは些と酷に過ぎやうぞ、天下を治むるは鏡の如く明かならざれば終に亂を起さん……此度の係り內膳、其方の存慮を尋ねる 內『ハハツ』と頭を下げ暫らくつて言葉を發せず居たりしが良有つて 水『畢竟最後の對決の際、既に善惡定まりましたる者を、……上總介綱村若年にして何事も辨へず、後見兵部甲斐の奸惡に起りし事、宜しく御憐愍の御沙汰御仁政の程願上げ奉ります』光圀侯は上段御座の方に打ち向ひ 水『恐れ乍ら最前より聞き召されたる通りの次第、御賢慮伺ひ奉ります』家『神君御遺訓に常に世は亂世と心得て、下には慈悲を旨とせよと仰せられ給ふ、上總介に罪なし、其家を倒さば家來共決して快く思ふまじ、天下泰平の爲め本領其儘に致して取らせよ』と鶴の一聲、一同ハツと頭を下る 水『御仁慈の次第、上總介嘸かし有難く存じ奉りませう』と將軍家御前の首尾、此事はこれにて落著、是に依つて伊達家は本領安堵、兵部少輔は松平土佐守御預け、伴市之正は小笠原左近將監へ御預けと成りました、片倉小十郎は大いに喜んで江戶表から至急歸國石川駿河茂庭周防等と萬事協議の上、主家は大磐石に治まり、松平上總介御成長、追々御官位御進正四位中將に任ぜられ、陸奧守綱村と仰せられて、上を敬ひ、下を憫み、專ら仁政を施し、仙臺中興の名君と稱せられました、安藝宗重の家督は倅兵庫に相續仰せ付けられ、甲斐の領地船岡八千石を加增仰せ付けられ、安藝の白骨は高輪東禪寺に埋葬に及び戒名は誠忠院殿釋宗雪大居士寛文十一亥年三月廿七日、御大老酒井雅樂頭宅にて忠死と、石碑に彫付け、伊達家代々の御主君江戶御入府の節は必ず御參詣が有つたと申します、原田甲斐の死骸は濱田村に引取り、芝增上寺中良源院へ葬りました、松前鐵之助は後年和泉と改め五十石に出世致し、病を得て死する時綱村侯の御手に縋つて笑つて瞑目致しました、淺岡は綱村侯母の御扱ひを賜はり七十餘歲の長壽を保ち、仙臺表に沒しました、其外功あるを賞し、罪あるを罰し、疑はしきは輕く致し、御家の上成るべく安泰に治められました、猶申殘した事も御座いますが、餘り諄く相成りますから此迄で略します、長らく御愛讀を頂きました伊達騷動も是れにて完結致します。(大尾)

聯將棋(一)

於京城旭町白水席 横山直樹氏送別將棋會

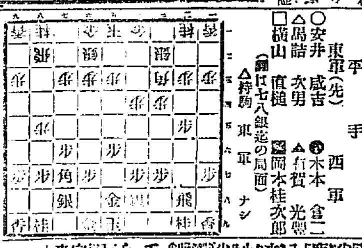
平手

東軍(先) ○安井成吉 △島詰次男 □横山直樹

西軍 ◉水本倉二 ▲有賀光豐 ▣岡本桂次郎

(圖は七八銀迄の局面)

△持駒 東軍 ナシ



○七六步◉三四步△二六步▲四四步□五六步(イ)▣三二銀○二六步◉三三角△四八銀▲八四步□五八金▣八五步○七七角◉六二銀△七八銀▲四二玉□六八玉▣九四步(ロ)九六步◉五四步△一六步▲五三銀(ハ)七九玉▣七四步(ニ)(以下次號)

講評

(イ)五六步は早し四八銀圍の方よし

(ロ)九六步は早し七九玉と指す處なり

(ハ)五三銀は惡し此處は先に角三一玉と圍むる處なり

(ニ)七四步は五二金と指す方優れり

四月十日

(舊)二月廿二日 土曜日 ▲つちのへ戌 ▲五黃 ▲大安 ▲破

▼五黃▲調子に乘る不可ざる日

▼六白▲午前中或は不如意なるやも不知れど午後より吉慶集る

▼七赤▲金錢或は男女の間に紛擾のある日誠實なれば諸事吉なり

▼八白▲運は好けれど油斷すれば化を生ずる日なれば油斷す不可

▼九紫▲愼み深ければ何事か譽しき事あるべきも妄進は大凶

▼一白▲一寸一ぷくすべき日

▼二黑▲何か變化の起り易き日好く行かば吉運を捕捉し得べし

▼三碧▲悅び事ありて吉慶集まるべき日なるも但油斷す不らず

▼四綠▲兎角勘の惡るき日なり

思はざる惠に 泣いて感謝す

の支部長家角ヒチ子夫人の就任早々にして露命を繋ぐ內鮮窮困者を見たる後舍の[illegible]に鼠し先づ第一回の救濟を爲す[illegible]

夫人は語りて曰く 世の皆様の熱い御同情に集つた寄附金は光州郡丈でも約四百圓に上りましたので光州の郡民の中で自分[illegible]極代に充てます[illegible]せんと感泣したお婆さんや愛兒を[illegible]

大田客月檢穀

大田米穀檢査所管內に於ける三月中の檢査數は白米一等二叺二等五叺大豆三等二千二百九叺等にして新灘津[illegible]玄米三等百六十五叺あり步合は六、〇なりき[illegible]百粒秤四粒にして一ケ月一[illegible]一千二百七十六叺京城に[illegible]九百十六[illegible]

雄基丸延著

[illegible]定に遲れて五日仁川入港七日新島(鴨綠江口)に入港の上八日[illegible]

丈夫で安く實用靴

ボックス革製 編上靴 乙五圓九十錢 甲六圓九十錢 深ゴム靴 乙六圓二十錢 甲七圓二十錢 半靴 乙五圓九十錢 甲六圓九十錢 乘馬用長靴 九圓五十錢

御註文の節は種類寸法御記入の事 代金引替小包で送る

陸軍御用 ツブク靴店 東京牛込肴町六〇 振替東京四一八四八番 工場 牛込區白銀町十番

金は有効に使へ

毛布 暴落 ¥3.25

戰爭と毛布とは密接なる關係が有る 戰時中は手の付けられぬ程高騰なりし毛布も全く平和と共に下落し[illegible]

御註文は東京神田 株式會社東京毛布仲賣店

生殖器 衰弱者

人生無上の快樂を得る事能はざる者にて實に同情に堪へざるが東京同仁醫院にて[illegible]

りん病 消渴に最も効能あり 一劑三錢切手にて申込あれば秘密に分發す

愛知縣東春日井郡鳥居松村 荒川酒造店

練瓦 製造 販賣 價格低廉 堅牢優美 (一月の製造高一萬個) 仁川桃山町五十一番地 山野井

京城義州通一丁目 小野煉瓦製造所 專門分工場 電話二四三番 ▲弊工場製品は品質本位とし價格も亦最も低廉なり

模範 全乳 ▲李王職御用 ▲鐵道病院御用 東亞牧場 (電話二五〇番)

十日の便秘も 一服で通じる 其快よさ

健通丸 クセニナラズよくつうじる

大阪市北濱 合名會社 參天堂藥房 電話本局一二〇四 一二〇五

定價十錢より壹圓まで各地の藥店にあります

虛弱者 衰弱者 精神過勞者 に眞に價値ある滋養强壯劑 レグモン を推奬す

眞に價値を認めらるゝ醫界!!

レグモンは京都醫科大學教授森島醫學博士より推奬せられ知名醫家多數の實驗を經たる優秀滋養强壯劑にして病中病後の衰弱、恢復期、虛弱者殊に肺結核腸室扶斯慢性胃腸病者、糖尿病者、等の滋養劑として好評を有す。

百瓦入二圓 二百瓦入 四百瓦入として發賣す(說明書郵呈)

發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

地獄で佛 たまらぬ齒痛に いまなをるはぐすり 今治水

主効 ▣むし齒の疼痛 ▣齒の根の疼痛 はじめの痛 ▣神經・肩の凝 逆上より來る頭の痛 ▣過熱過冷 食物より起る其他一切の齒痛

本舖 大阪・東京 丹平商會

本場 大島紬 織元 出張 勝久支店 京城本町二丁目 電話九〇一番

時勢は運搬車を要求す

能率無比、世界第一の パカード運搬車

必使用して始めて平和戰の勝利者たるを得べし、

京城長谷川町一一六(電一四三五) 內外興業株式會社 自動車部

電話本局 三一五二 一二九 四八四六 一二八 二〇一八

支社 大阪堂島仲一 四八一 神戶北長狹通 三宮一五二一 門司東本町 九八三 大連大山通 電 一八〇二

日本軍は三月卅一日帝國政府の宣言に基き我軍の駐屯に關し四月二日以來當國官局と平和的交渉を進行中四月四日夜突然露國武裝團の一部は我軍哨所兵站司令部の各衛兵に向ひ攻撃……に對する手段を講じつゝあり

商況

株式

帳簿整理休會

東京大阪兩市場共に昨本場の暴落に依り帳簿整理の必要を生じ同日後場より八、九兩日に亘り休會する事となれり

大阪株式（至急電報）

	六日後場	七日前場大引
大新	三二〇、一〇	
東新	三〇一、一〇	
紡新	一五八、〇〇	
鐘新	一七五、一〇	
郵新	九九、九〇	
商新	九六、〇〇	
東電		
米穀	一八〇、一〇	
取	一五六、〇〇	

大連株式（至急電報）

	七日前場寄付	前電比較
大連取引	四〇、一〇	……
南滿製糖		……
東省實業	四八、〇〇	……
滿洲製粉		……

京城現株（標準値段）

▲印騰貴　△印下落

	拂込額	値
仁取	四〇、〇〇	二四八、〇〇
京株	三二、五〇	四〇、〇〇
安信	三二、五〇	三四、〇〇
鮮證	三二、五〇	四八、〇〇
鮮銀	一〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇
殖銀	五〇、〇〇	一〇三、〇〇
漢銀	五〇、〇〇	五六、〇〇
京銀	二五、〇〇	三〇、〇〇
同新	五〇、〇〇	六〇、〇〇
同新	二五、〇〇	三五、五〇
朝鐵	二五、〇〇	一四、五〇
興鐵	五〇、〇〇	四〇、〇〇
中鐵	三二、五〇	八、〇〇
南鐵	五〇、〇〇	五、〇〇
鮮鐵	五〇、〇〇	七、〇〇
東拓	五〇、〇〇	六五、〇〇
同新	三二、五〇	三三、〇〇
町土	三二、五〇	△二一、〇〇
大土	三二、五〇	一五、〇〇
東亞	五〇、〇〇	九五、〇〇
同新	一〇、〇〇	三九、〇〇
朝煙	四〇、〇〇	三五、〇〇
藥業	三二、五〇	三七、〇〇
京電	五〇、〇〇	六〇、〇〇
同新	二五、〇〇	三一、〇〇
朝紡	三二、五〇	△二七、〇〇
朝毛	三二、五〇	△三六、〇〇
朝紙	二五、〇〇	五七、〇〇
朝糖	二五、〇〇	△三五、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四一、〇〇
電興	二五、〇〇	△二五、〇〇
皮革	五〇、〇〇	二八、〇〇
朝畜	三二、五〇	一六、〇〇
朝日	三二、五〇	一五、〇〇
特許	三二、五〇	二八、〇〇
商工	三二、五〇	一五、〇〇
仁倉	三二、五〇	一四、〇〇
朝窯	三二、五〇	一四、〇〇
京窯	三二、五〇	一四、〇〇
朝肥	三二、五〇	一八、五〇

株式氣配特電

帳簿整理の爲め休會、東株現物新舊三百一圓、郵船百五十八圓新七十七圓、鐘紡三百七十圓、其他の銘柄混沌として不明

東京現株別報

（八日午前十一時五十分東京發）
東株三〇八、〇〇▲滿鐵一新一三五、〇〇▲郵船一七三、〇〇▲商船一〇九、〇〇▲鐘紡三七四、〇〇▲滿糖二九、〇〇▲鮮銀一九二、〇〇▲殖銀九三、〇〇▲朝紡一五、〇〇▲滿蒙三四、〇〇▲滿新三三、〇〇（七日二和商店入電）

京城現株市況

今朝市況は昨日の內地株式暴落に愈々市況不振の形勢……

京城株式

京城株式	四一、〇〇	五三四
朝鮮紡績	三〇、〇〇	四五
殖銀權利	一七、〇〇	三〇〇
滿蒙毛織	三七、〇〇	一〇〇
朝鮮土地	二二、五〇	五〇〇
朝鮮電興	一五、三〇	一〇〇

に手合行はんか意外の損失を自他共に招く恐れあり斷じて……な崇りなしとして各株式店共生欠伸連發の閑散狀態にして一向見るべき商內行はれざるが仁川取引は增配要望の聲と共に商內行はれざるも氣配高く京株は四十圓ドタに落ち込みたる以來引續き盛割れを演ぜんかと懸念されたるも四十圓以下は引受に買狙はるゝ振合ありて昨今何となく底入れ模樣を呈し未だ容易に崩れの商內は出來せざるもの如きも內地株式の彼が如き慘落は延いて各所に破綻者續出すべき系界に飛躍して其の名を知られたる現に別項大阪特電の如く株式界に居る大阪府田ビルブローカー銀行さへ仕拂停止を行ひ破綻に瀕せし折柄なれば人氣の上に多少の影響を蒙りて玆當分目覺しき反發は期待し難からん昨午後より今朝に亙る手合平均値左の如し

▲有價證券現物問屋▼

㊎ 京城長橋町六〇 金龍商會 電話一八九三・一八八五・一八五〇番

宛然恐慌狀態
暴落の眞因如何

最高記錄を示せる約八十萬株一億圓の大受渡が無事完了せるに拘はらず市場は處分的投物を以て充たされ一齊崩落を演じ此處に濃憚たる恐慌相場を示現するに至れり、金融市場の惡化、貿易の大入超、不景氣來の絹糸一般財界は渺なからぬ不安を以て迎へらるゝに至りたるが如き元より有力なる安原因には相違なきも實質、業績採算等を全然無視せるこの法外なる安値に叩かれて宛然たる恐慌狀態を露する程に一般經濟界が惡化せりとは信じ難し思ふに大受渡の裏面の消息必ずしも樂觀を許さず自然一時に處分投げの續出したる者聰明は聰明を蔽みて取引所に振込まれたる手形の決濟如何等の氣遣はれつゝあると及銀行の警戒頗る大にして資金の融通全く梗塞せるより更に叫、五兩限に對する不安となり今は實需や採算等を云々するの遑なく投げ崩されたる者なりと云ふが蓋し當面の最安原因なるべし而して此暴落は更に銀行の警戒加重となり代用價格の引下げとなり買氣の阻喪となりて市場を脅威するに至るべく、當局の救濟を待つにあらずんば同復は容易ならざるべしとの說もあり然し一面には相當救濟的施策を見るべしとの說もあり且諸株の直頃は如何に悲觀に偏倚したる立場より見るも買の餘地なきを以て處分玉と四五兩限に跨れる不健全なる賣玉の一洗せらるゝに於ては當然或程度の反撥を呈し來るべしとも思はる、何れにせよ買方の警戒必要なると同時に賣方に在りても最早安心買の時代は過ぎ去りたるものとして相當警戒の要あるべしと云ふ

續いて暴落

別項氣配特電は東株現物新舊三百一圓郵船百五十八圓新七十七圓鐘紡三百七十圓とあるが之れを一昨日の暴落前に比せんか東株は實に六十圓郵船二十圓鐘紡七十圓方の低落を演ぜし譯なり

仁取氣配要望

仁川取引所は今期總益八十六萬五千餘圓之れに金利收入を加へんか九十萬圓近き利益を擧げたるが之れに對して五割の配當を爲すべく重役間に內定し居れりと傳へらるゝや一部株主間には利益率より打算して今一步を進め七割配當の要望……

京株下落り

京株は連日下げ足を續け居れるが昨今は內地相場の暴落に當地所一眼先崇割れを懸念されたるの現株界も不安の氣漲りて一齊に手控へ狀態となり出來高を示しつゝありて四十圓以下は値頃思ひの買物濟み居れるもの如く京株のみは相當の出來高を示し商狀何となく底入模樣を呈して下澁りつゝあり

大連株式界

小泉理事長の來連で敷島町の遊步地六千坪が特に手に入り仲買店迄も一所に集合して大に景氣を附ける者だと云ふから相場も之れを動機に少しは買はれやうかと思つたら逆に頽勢を續けて居る賃材料さへ買へぬ處を見るとヨクヨク腐れ切つた相場と覺悟するより外ないので今日既に品限が大ドタ割り之から先きは何處迄往くか事やら賣方さへ驚く程の………直ないと云ふても內地が常に下鞘で其鞘も五圓八圓と圓もあるのだから內地を買附けて先物に賣れば……イクラ荷爲替の入費や金利を見積つても相場師として利得があるのは當然の事で現在取組では全部良方は正を繫いだものゝと見られる之れで只さへ金の詰つた大連で株を輸入してはゝ無けなしの金を輸送するやうなもの相場の上がられぬのは當然の事であらう夫れに當限五千枚

㊀ 安東證券信託仲買人　原田株式店　安東縣市場通　電話七四番二〇八六番四〇番

の買玉を擁して居る某仲買が到底受け切れぬと悲觀されて居るのだから尙更安いのは致し方ないトコロで此の買方を援けて相場を支へやうと取引所とか清算會社とかで資金を融通すると云ふ噂もあるがソンナ事をしたなら尙更相場は急轉直下だ人爲で相場が支へられるものでないあまり人爲を加へるから此の相場は尙更崩れ足が早いので趣きでもの時に賣玉を遣はせたり買方からは代用を取つても賣方に止め株の提供を禁止したり立會場で某仲買人の商手が目立つと云ふので非常識にも之を禁止したり無理な嫌りで値が固まらないのに折を入れさせたりあせりにあせつて無理値を附けやうと思つて居るから相場は遠慮なしに下に往くのである夫れに賃株輸入で資金の流出と來て居るから文句はない

公債株式現物問屋　丸五　有田商店　京城永樂町二丁目　電話長一四九八番二二六

○京阪金利　四月七日の現在左の如し

	東京	大阪
一日	二八、〇〇	二八、〇〇
無條件	二八、〇〇	二八、〇〇
翌日物	三二、〇〇	三一、〇〇
六十日物	二九、〇〇	二八、〇〇
普通割引歩合		

○日銀帳尻　四月六日の現在左の如し

發行高	一、二四七、一九〇、〇〇〇
正貨準備	九一九、五四四、〇〇〇
限外發行	二〇七、六四六、〇〇〇
限外出高	六一九、一六四、〇〇〇

證券日報　四月七日の現在左の如し

發行高	一五〇、五四〇、二四八
正貨準備	五六、五四四、六六六
限外發行	四三、九八〇、五八二

C.R.Lee Co. 有價證券現物賣買 SHARES BROKER 李章魯商店 TEL No.345.505.508.803.

米況

東京期米特電

◎八日前場	
當限寄付	四十五圓九十五錢
同　止め	四十六圓十二錢
中限寄付	四十五圓四十五錢
同　止め	四十五圓十五錢
日後場	四四、五二
止め	四四、七〇

大阪期米特電

◎八日前場	
當限寄付	四十三圓四十六錢
同　止め	四十三圓四十七錢
中限寄付	四十三圓三十六錢
同　止め	四十三圓三十錢
◎六日後場	
寄付	四三、五九
高値	四三、八〇
安値	四三、〇〇
止め	四三、〇〇

神戸期米特電

	八日前場
當限寄付	四三、八〇
中限寄付	四三、〇〇
先限寄付	
◎六日後場	
寄付	四三、七一
高値	
安値	
止め	四三、二三

下關期米特電

◎八日前場（晴）株式暴落打擊

寄付	四三、四八	四三、四〇
高値	四三、五〇	四三、〇〇
安値	四三、二〇	四三、四〇
止め	四三、二〇	四三、九〇

釜山正米特電

內地期米大暴落を報じ爲めに相場は偶然一圓三十錢方奔落し市價全く氣崩れの狀態を呈し三等新米四十六圓五十錢最良四十七圓十錢所にて一千八百叺出來

群山正米特電

大豆京釜線倭館物二十六圓群山二十八圓五十六錢にて六百叺出來（八日釜山）

本月末四十五圓二十錢來月中五圓丁度先二十五錢現物五圓七十錢（八日）

仁川期米

八日前場（下放に不勢）

賣方の威力に下溢りし場面も爲合の勢に崩壞され昨後場は四十四圓七十八錢と落し八十七錢と小戾しに打止めし折柄引跡大阪後止め四十三圓九十四錢の安移りに今朝の氣配安を添へて益々軟派の威力加はりしと反對に有力者の買物背に提灯を附けしマバラ筋は狼狽的に投物を續發せしめ常山來ざるが中山布の分の成行きと立會後の株式如何によるならん

因に外人五十名も出席し居たりと（上海電報）

密に於て密に排日排貨及び米英との親交を決議したる模樣なり

丁の下放れに寄付

四十五圓丁度に四十五錢崩落せしも力の九十八錢跡返したるが先限は五圓〇五錢四十四圓三十五錢と五十二錢二十九錢と追擊されしが目先手詰め買ひに支へられて四十五錢と跳返したるが戾りは某手筋と思ふ投物余程見られたれは其れを眺めた軟派は又復賣崩しを試み小口の手詰めも消化して四圓丁度崩れ〇五錢と小戾しに引

後場三圓割れ

▲第一節　當限來ずで中全の利喰ひに四十四圓七十錢と始めしも賣方賣五十錢と下廻り先三十八錢と下寄り跡續いて追擊賣に手詰め買の旺盛に戾られ八十錢と返し戾りは軟派の狙ひ撃に再び六十九錢と押し買方の防戰に七十九錢と盛返して引
▲第三節　當四十三圓七十錢と始め㊥買に四十錢と安寄り㊀㊥買に六十錢と返せしかば先限も八十錢より五錢と上向き戾り狙ひの手揃ひ賣に壓され五十五錢と不勢を逆に手詰め三新規の買に六十三しが持直して引
▲第四節　當出來ず中四十三錢と始め㊥全の利喰賣に六十十錢と支へしが軟派の追撃猛烈を堅かりしが六十六錢と崩れ頭重く引
▲第五節　當出來ず中六十錢と先十五錢と不勢に始め軟派の利を又復四十六錢と崩れ跡回頭に支へ八十五錢と押し戾りを挾み四十五錢の大買物に三錢と返しと三錢と波瀾裡に大引せり

硬派の惡戰苦鬪

一時硬軟爭奪の的となりし四十六圓の關門も軟派の爲めに脆くも破壞されたるのみならず大阪の九十錢崩落續きに昨後場は三圓臺の打破りしが引跡大阪四十三圓九十四錢の安移りを入れ今朝は更に人氣惡化して公定賣の旺盛に買方更に恐怖の度を高めて之に雷同せし小口提灯連の投物續出となり立會へば當四十三圓七十錢中四十錢と始め先四十四圓二十五錢と跳ねし模樣は兎も角見はれ同時に買方の中堅たる某手筋の投物㊀令より願出せしかば得意の軟派は好機逸す可からずと猛烈なる追戰を加へ四十四圓は遂に四十三圓四十錢と前安値を下廻り賣方愈々惡龍に陷り引際の五千石賣に對し大の賣向ひもありしが跡續いて好く買進みしかば結局八十五錢と盛返し三錢と大引せり眼先底入れの觀もあるなれど四圍の情勢は尙安心的買向ひの時機にあらざるべく波瀾曲折裡に今一段の崩れあるや知るべからず

各地更に慘落

株式暴落の打擊として昨後場四十四圓臺を割りし大阪は今朝更に不勢を呈し寄付先三圓五十九錢と三十五丁安に寄付跡八十錢と一時引返し步調を移せしが一方株式市場は相場の激落に東西南市場共昨後場より九日迄引續き臨時休會中の今內氣配由にて前かも休會を爲すは諸株更に暴落を續行せんとする模樣なれば之れに崇ひ期米界の動搖愈甚しく自然人氣は恐怖に恐怖を加はへ跡投け米續出さ待つて軟派總崩れとなり

引は遂に三圓ドタ六

と蹴込まれ後場は更に三圓の關門さへ破壞せらんとする傾向あり尙東京は寄付四十四圓五十二錢より七十錢と却つて上値止めを移し東西の步調一致を缺き居れるが此邊果して眼先の底入れ乎夫れとも餘勢更に四十圓の大臺に肉迫するか并は正米の成行き立會後の株式如何によるならん

は日本が勝和條約に據りて獨逸より取得せるカロリン、マリアナ、マーシャル群島に嚴重なる防備工事を施し居れりとの秘密情報を得たり」と（國際通信社發電報）

出來まい兇に依つて何にか人氣取り的の手段を講ずるな事はあるまいか從來の政府の遣り口から見て斯う思ふ者もある吾人は果して然るや否や保證し得ないが假りにも斯んな事を爲すれば乾度利目はあるに相違ないと思ふ何となれば時勢は實に變轉して居れるからである是れ迄は恐ろしいものであると云ふ事だ是れは高いと云ふので政府の調節を熱望せる人間とは誠に得手勝手なものである自分が逆境に陷ると直ぐに政府を怨み出す併し冷靜に考へて見ると今の窮境に陷つて居るのは自己の不明に歸すべきものである自己の責任は大れ程までに重大なものである……その考へは起さねばならぬ何となれば人爲的の效果があつて何人も知れるとも大勢に對しては手段を講じたとて居るが故に夫れが關係は不可能なのである期市場が火の手を擧ぐるも需給の關係は思はぬ狀態に一閃光的に過ぎないのである經驗ある相場師が動かずに居た其の一閃光の……が今の情態であるとの見解の

京城正米市場

正米は遂に大阪仁川共に今期末前場は暴落を受けとなり當地正米又籔崩れ模樣のあつた物價の新安値に落込み旣に三圓臺の相場を得たるの憂ひ……

市場雜觀

正米の延べを投げたり買ふたり突飛なる火事泥的仕事を始めた策師が屋もあつては由絹自縛の窮地に陷るより仕方があるまい併し未だ買方にも左程負擔をした事もないと云ふ思ふに全く强されないとの事である……

四十二丁錢安に寄

ダ崩れ此邊軟派の見透りとに困の大賣物を添へ三圓ドに蹴上げしも地場二流筋の追戰割安思ひの買向ひに一旦七十錢處を挾み合ひ先四十三圓四十錢四十四錢より二十錢と崩れ二安〇退の賣に冊五錢と返し三十錢然を極め當限出來ず中力買に四十氣勢好くに打止めしが引跡大阪の安喰ひに一○一十錢と盛返しに引

十錢と慘落

……四十三圓九十錢と追擊されたれ九十二錢と盛返しを呈したる場と見現れて四十錢は第二節當出來ず中力買に四十三圓二十錢より四圓丁度と崩れ

內地米信

頃來の各定期市場凋落の兆候に對し總選擧を限前に控へたる政府は當局も正米の……

京城在庫穀物

三月末日の京城在庫穀物如左

大麥一七、三二三叺▲小麥一〇、九〇叺▲粟二一、三〇八叺▲糯米一三、八九〇叺▲大豆九、六九叺▲小豆八、六八九叺▲胡麻五五七叺▲雜穀七、五七九叺▲高粱二、四〇二叺▲綠豆一、二三〇叺▲蕎麥二、四〇〇叺▲豌豆一、六〇叺

粟相變らず軟弱

人氣不勢の機先期米の積落を受けたる事とて市況は益々軟弱なり今朝は四平街六月渡五車十九圓七十錢同五月渡現物五車二十一圓三十錢の手合せあり

仁川正米市場

正米は定期の連續的暴落を受けし事とて更に買人無く今朝は双方見送りの態度にて市況は殆ど無見當の軟態なり

電話本局長　807 808 809 810 811 812 2345 4381 4382 4383 4384 4385

大阪株式取引所仲買人　松井慶三商店　大阪北濱一

定期部　現物部　信託部　調查部

大阪三品特電

◎八日前場

四月限	六三〇、一〇
五月限	六〇九、九〇
六月限	五九四、九〇
七月限	五九一、〇〇
八月限	五八六、一〇
九月限	五七一、〇〇

佛織物職工復業

佛國織物職工は二十六日より復業せり（巴里電報）

安徽軍務督辦

馬聯甲氏は安徽軍務督辦に任命されたり（北京電報）

銘仙新柄デー

四月十一日日曜十二日月曜二日間並時價以上の格安品五百反限り提供

京城日報社代理部

古書　古物　書畫　着物　骨董

今般私儀上記營業仕候間何卒不相變御引立の程偏に御願申上候尙ほ御不用品は何品に依らず精々高値に頂戴可仕候に付遠近に不拘御一報被下度早速參上御用命に相應じ可申候

（仁川御町八坂遊廓前）　岩井惣兵衛

有價證券現物問屋　㋫　古閑商店　京城明治町一丁目五七　電話三〇番二〇一四番（創立大正元年）

愈々完成

機械增設設備改良の爲め六日七日臨時休業致し居り候處本日愈々仙工場の到底企及し能はざる模範工場完成本日より引續き精米御用命に應じ申上候間倍舊の御用命仰付被下度奉願上候

特等精白米　一升　五十六錢
壹等精白米　同　五十五錢
△但し特等米は五斗叺トス

總督府遞信局・京城憲兵隊・警務局、保安課、消防隊　指定店　購買組合

合資會社　京城日報社代理部　電話六千九番　構內十九番

地方代理店募集

釜山　平壤　元山　大邱　太田　木浦　群山　清津　新義州

其他必要ナル土地ニ代理店ヲ募集ス希望ノ者ハ御照會次第代理店契約書ヲ御送附可申候

公債株式現物問屋　京城府黃金町三丁目　福株式店　電話一四二五番　電略（フ）又ハ（カフ）

◎成功者ノ裏面ニハ必ズ拾中ノ八九ハ株式賣買ニ依テ成功シタルモノナリ今ヤ滿鮮各地ニ取引所ハ創設セラレ當地モ近々ニ取引所ノ開市ヲ見ルニ至レリ此秋ニ際シ弊店ハ業務ヲ擴張シ尙各地ニ代理店ヲ創設シ普ク諸彥ノ御便宜ヲ圖ラントス

移轉廣告

今般左記へ移轉仕候間倍舊の御愛顧御引立の程奉願候

仁川海岸町三（三巴仲買店跡）

張錫祐仲買店

電話　事務室用　長一三一番　各室用　長一四一番　同　長八五五番

株券引換廣告

當社株券本月十三日より第一回拂込金領收證と引換に御渡可致候に付き領收證裏面に住所氏名御記載捺印の上株券受取方御申出相成度此段爲念廣告候也

大正九年　月　日

朝鮮京城府南大門通武丁目　西鮮殖產鐵道株式會社

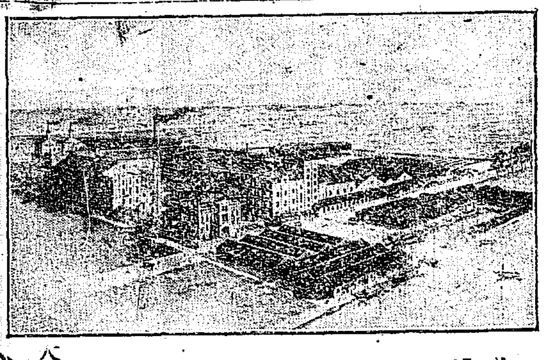
總ゴム製紳士靴

皮靴以上の紳士靴　編上靴九圓二十錢　短靴六圓五十錢　丸靴五圓五十錢

御注意　安物買ひの錢失しない安物は劣惡品なり　十足以上の御注文は割引す

福助足袋商事株式會社代理店　京城黃金町一丁目（三井物產西）　酒本高明商店　電話三〇六一番　振替京城三九八番

大阪　參天堂藥房　兒玉



合名會社 (K) 勝山鐵工所

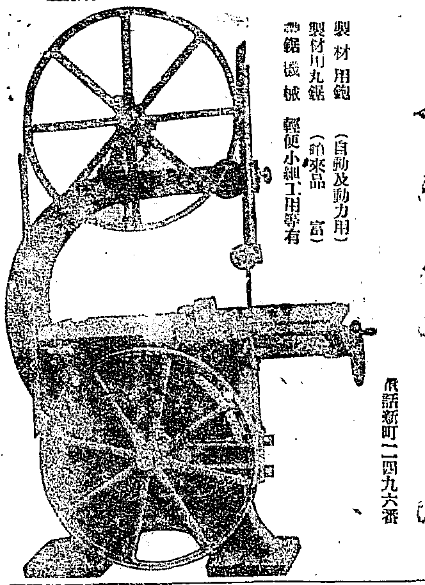
製作科目
海陸用各種火造
船舶用各種喞筒
船舶用各種艤窓
セメント
耐火煉瓦
化學工業
鑛山用各種諸機械幷ニ船舶修繕

大阪市西區本田町壹丁目
電話西一八〇〇番 振替大阪四八〇六番

製材器製作專門

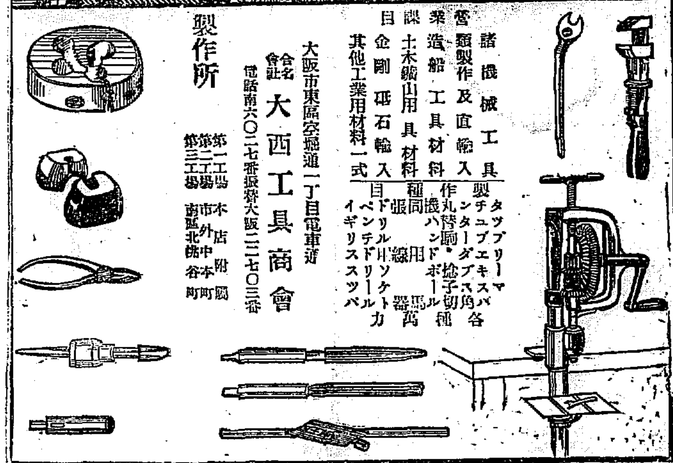
營業課目
諸機械製作
同附屬工具商

製材用鉋（自動及動力用）
製材用丸鋸（舶來品 富）
帶鋸機械
輕便小細工用等有



大阪市西區薩摩堀裏町十六番地
(S) 鈴木三郎商店
電話新町二四九六番

機械工具製作及輸入



營業課目
諸機械工具類製作及直輸入
造船工具材料
土木鑛山用具材料
金剛砥石輸入
其他工業用材料一式

製作種目
タツプリーマ
チユーブエキスパ
ンダー・ダブス角各
丸替駒・捻子切各種
機ハンドボール
同用
張線用馬萬
ドリル用ソケット
ベンチドリール力
イギリススツパ

大阪市東區安堀通一丁目電車道
合名會社 大西工具商會
電話南六〇二七番 振替大阪二三七〇三番

製作所
第一工場 本店附屬
第二工場 市外中本町
第三工場 南區北桃谷町

消毒は徹底的

登録商標
消毒割箸

大阪市西區南堀江上通
藤村商會
電話西四一八四番
カタログ見本進呈

各種
綿帆布

近江帆布株式會社代理店
大阪市西區靱本町三丁目
於勢佐兵衞商店

METAL I.M.N. POLISH

EXCELSIOR LIQUID and KINSHIP ASTE
TAMAMITSU & CO.
OSAKA, JAPAN. TEL. No. 3128. (Nishi)
GENERAL EXPORTERS AND IMPORTERS
FOR
ALL GRADES OF METAL POLISHES.
CRESENT ANGLE BAND-SAW
(PATENTED)
ERECT, FOR SQUARE SAWING. (Composition)

關東一手販賣總代理店
東京京橋區銀座四丁目 矢沼商店
關西特約代理店
京都寺町通蛸藥師下ル 永松金物店
工場
京都五條東四丁目 多磨光商會

諸工業及一般家庭用
キンシ煉磨
エキセレシヤ液磨
エキセレシヤ粉末磨

新著優良
エキセレシヤ

渡金工場用
エキセレシヤ仕上磨
エキセレシヤ荒磨
エキセレシヤバフカラー

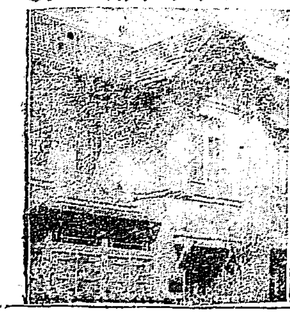
大阪市西區九條通四
大阪安治川通兵衛渡停留所前
多磨光商會

諸官衙學校病院諸工場御用

中田式活版ローラー

營業課目
新聞輪轉機用ローラー
活版印刷用ローラー
本版印刷用ローラー
コロタイプ用ローラー
謄寫版用ローラー
フイルム用ローラー
硝子腐蝕用護謨代用
原料
調合原料（改鑄用）
鑄込換

代理部營業課目
活版印刷機械既製品
印刷用附屬品一切
印刷用インキ
寫眞銅版
名刺葉書用紙各種
洋膠（ゼラチン）
晒膠 三千本膠
製本用膠各種
グリセリン



大阪市東區玉造半入町
中田式活版ローラー製造所
中田瑞穗堂
電話長南六一二二・六一五二 振替大阪六二八〇〇番

宮内省御用

賜北白川宮殿下御台覽御献納榮
日本政府特許登録 四六〇八四 四七七八二 四七三六八 四七八一〇
誰れでも御自身の聲を寫してすぐ聞ける（寫音機）

聲の寫眞機

▲此の寫音機は蓄音器に取付けて一度御自身の吹込んだ聲を即座に何回でも聞く事の出來るのが特色です
▲吹込みは屋内外を論ぜず設備は勿論消耗品は一切要りませぬ
◎大阪三越呉服店其他各地信用ある蓄音器、樂器、時計店等にあり販賣店なき地方は直接發賣元へ乞御注文を

各國蓄音器直輸出入
日本蓄音機關西發賣元
大阪市西區新町通二丁目北入 電話長新町二四二番
榮商會
滿洲總代理店 大連市浪速町 榮商會 電話六二一七番
上海乍浦路 榮商會 電話北二四〇六番

至急開設 各地に特約店を募る
目録進呈

登録商標
營業品目
▲マニラーロープ
▲ターロープ
▲ワイヤロープ
▲麻苧綿糸製品及原料
▲棕梠製品及原料
▲鐵鋼線及船具工具品

大阪市西區阿波座通五丁目
笹村竹造商店
電話新町一四二一・一四二二 振替口座大阪七五八番

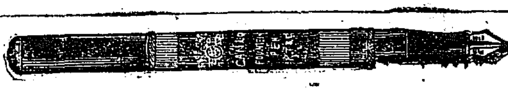
時間ト働力ノ節減

耐久力強クシテ永年使用出來且ツ體裁優美ナル逸品ナリ スベカラク活社會ニ奮闘努力セントセバ本品ヲ使用セザルベカラズ

大阪市西區靱南通二丁目
各種運搬用三輪車製造發賣元 中島二輪車部
電話土佐堀一九三七番

營業課目
▲マニラロープ
▲ターロープ
▲マーレン
▲各種麻及綿ロープ
▲各種麻細紐

內外麻苧製綱商
池田商店
大阪市東區南久寶寺町五丁目



ドンドン ドンドン
賣レ行ク大砲印
カノン萬年ペン

大阪市南久寶寺町堺筋角
カノン印文具 歐米文具一式
卸商 富田開雲堂
電話船場一九二四番 振替口座大阪四三〇九番